

令和2年度第2回鹿児島市地域情報化推進委員会

○日時：令和2年11月25日(水)
11時00分～12時00分

○場所：東別館9階特別中会議室

会 次 第

- 1 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について …【資料1-1】
【資料1-2】

配布資料

【資料1-1】鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について

【資料1-2】鹿児島市の情報化に関する市民意識調査報告書（案）（中間報告）

（ファイル綴り）

第四次鹿児島市地域情報化計画（本編・概要版）

鹿児島市地域情報化推進委員会設置要綱

鹿児島市地域情報化推進委員会 委員名簿

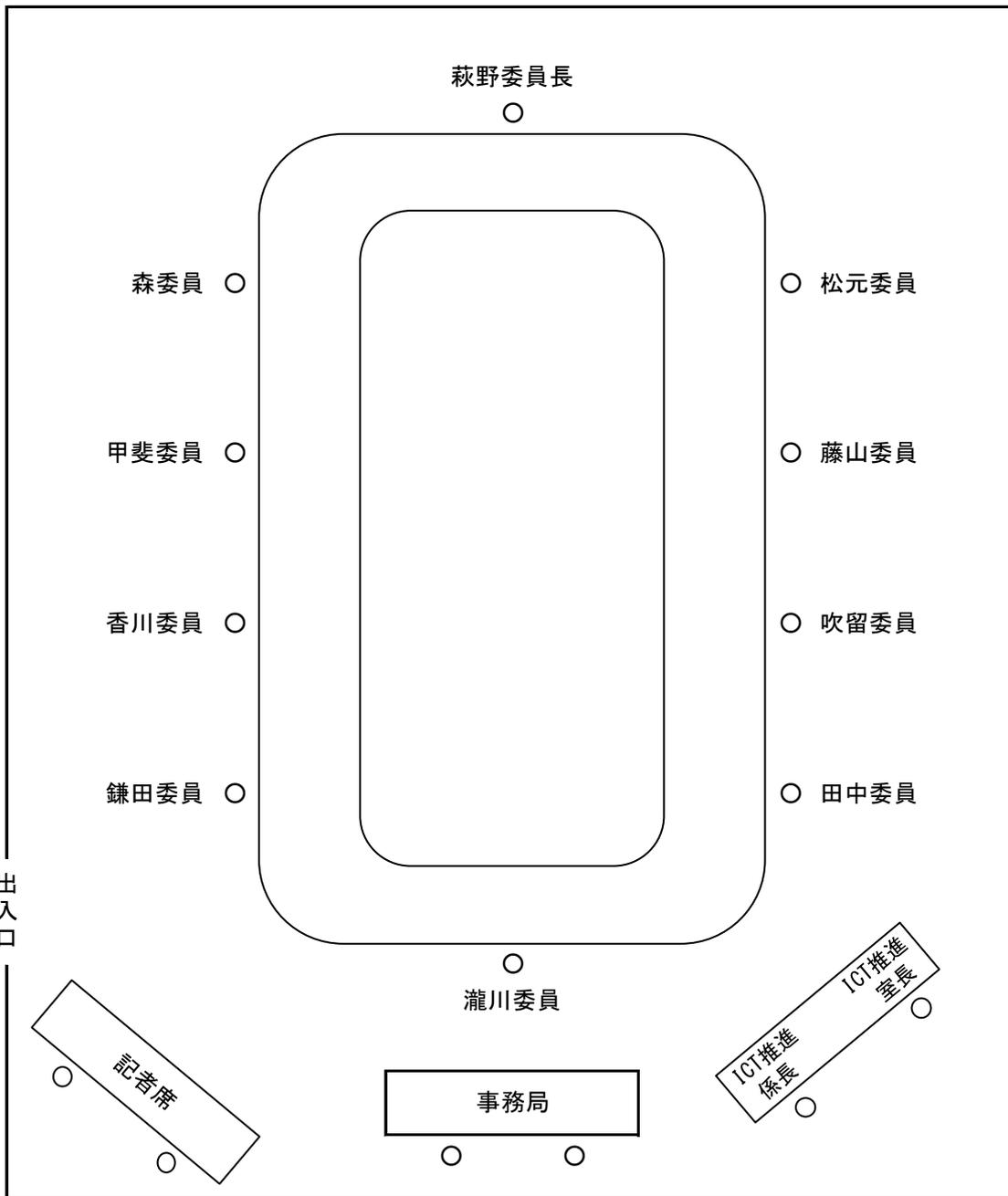
令和2年11月2日現在

No.	役職	氏名	所属		備考
1	委員長	ハギノ マコト 萩野 誠	鹿児島大学法文学部	教授	
2	副委員長	モリ クニヒロ 森 邦彦	鹿児島大学 学術情報基盤センター	センター長	欠席
3	委員	カイ カオル 甲斐 薫	特定非営利活動法人 鹿児島インファーマーセッション	会員	
4	委員	カガワ アサミ 香川 麻美	KCS 鹿児島情報専門学校	講師	
5	委員	カマタ カオリ 鎌田 香	公共財団法人かごしま産業支援センター	よろず支援拠点コーディネーター	
6	委員	タキガワ ノリヒロ 瀧川 憲洋	公募委員		
7	委員	タナカ ミキヤ 田中 幹也	日本政策投資銀行南九州支店	次長兼企画調査課長	欠席
8	委員	フキドメ ヒロミ 吹留 博実	株式会社鹿児島TLO	代表取締役社長	
9	委員	フジヤマ ナツキ 藤山 菜月	公募委員		
10	委員	マツモト 松元 まや	一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	理事	

※50音順(敬称略)

令和2年度第2回鹿児島市地域情報化推進委員会 座席図

○日時：令和2年11月25日(水)
11時00分～12時00分
○場所：東別館9階特別中会議室



鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について

1. 目的

現行の第四次地域情報化計画の期間終了を令和3年度末に控え、本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期地域情報化計画の策定に活用するため、市民意識調査を行った。

2. 調査対象者

16歳以上80歳未満の鹿児島市民を対象に総数3,500名を抽出。抽出は、住民基本台帳により令和2年4月現在の年齢階層別、性別、地域別人口構成に応じ無作為に抽出を行った。

3. 調査方法

調査票の郵送配付、郵送・電子申請での回収による無記名のアンケート調査

4. 調査期間

令和2年8月5日～8月31日

5. 有効回答数

1,784件（回答率51.0%）、うち電子申請による回答233件（回答率6.7%）

6. 概要

（Pは、【資料1-2】中間報告書のページ数）

(1) 情報通信機器の保有状況（世帯）（P7）

情報通信機器	28年度調査	2年度調査	増減	全国 元年度調査
スマートフォン型の携帯電話	60.0%	82.6%	22.6	83.4%
パソコン	60.7%	63.7%	3.0	69.1%
タブレット型端末	27.8%	38.5%	10.7	37.4%
携帯電話（スマートフォン除く）	52.1%	26.6%	△25.5	41.4%

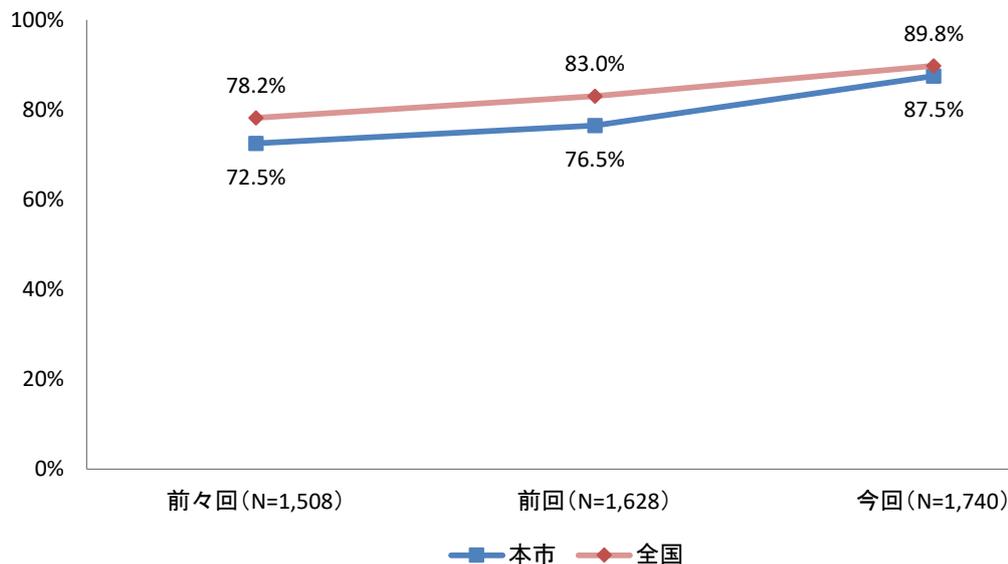
(2) 自宅でのインターネット接続回線（P8,9）

接続回線	28年度調査	2年度調査	増減	全国 元年度調査
光回線	46.8%	56.1%	9.3	54.5%
携帯電話回線（4Gなど）	35.7%	44.3%	8.6	50.8%
携帯電話回線（3Gなど）	14.3%	7.9%	△6.4	16.4%
ケーブルテレビ回線	3.7%	3.9%	0.2	3.2%
D S L回線（A D S Lなど）	5.8%	3.4%	△2.4	

※全国の調査は、自宅のパソコン等からインターネットに接続している世帯に占める割合

(3) インターネット利用率（個人）（P14）

前回 28 年度と比較して、本市の個人利用率は、76.5%から 87.5%と増加しているが、全国平均と比較して 2.3 ポイント下回っている。



(4) その他主な質問についての回答状況

質問内容	回答が多い項目
1 インターネットで利用するサービス (P17)	天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）(72.2%)
	ニュースサイトの利用 (67.8%)
	電子メールの送受信 (64.2%)
2 テレワークの実施状況 (P19)	テレワークはしたことがない (75.2%)
	在宅でテレワークをしたことがある (8.6%)
	外出先でテレワークをしたことがある (3.0%)
3 利用した SNS (P26)	LINE (69.3%)
	Instagram (29.5%)
	Twitter (21.4%)
4 情報化施策の利用状況 (P30)	市のホームページ (41.5%)
	鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）(21.0%)
	市立図書館ホームページ等の蔵書検索、予約、利用確認等のサービス(9.6%)
5 情報化による市民サービスの利用意向 (P32)	地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実 (29.3%)
	観光の振興 (22.8%)
	ごみの減量化、資源化の推進 (21.9%)
6 行政情報を活用する際の課題 (P34)	どこに公開されているかわからない (39.5%)
	活用方法がわからない (35.0%)
	利用の手続きが複雑でわからない (23.3%)
7 情報化に対する不満や不安 (P36)	個人情報やプライバシーが侵される (59.9%)
	パソコンなどを利用できる人とできない人との間に格差が生じる (57.3%)
	ネットワーク犯罪が増加する (50.7%)

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査報告書(案)
(中間報告)

令和2年10月

鹿児島市ICT推進室

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	3
1. 回答者の基本属性	3
(1) 性別構成	3
(2) 年齢別構成	3
(3) 職業別構成	4
(4) 地域別構成	4
2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況	5
(1) 世帯でのインターネット利用状況	5
(2) 情報通信機器の保有率	7
(3) 自宅でのインターネット接続回線	8
(4) 小中学生の子ども専用のタブレット型端末等の保有状況	10
3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況	12
(1) 個人でのインターネット利用状況	12
(2) インターネットの利用機器	15
(3) インターネットの利用頻度	16
(4) インターネットで利用するサービス	17
(5) テレワークの実施状況	19
(6) インターネットの利用意向	20
(7) インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由	22
(8) 携帯電話又はスマートフォンで利用した機能・サービス	25
(9) 利用したSNS	26
(10) SNSを利用する頻度	27
4. 鹿児島市が発信する行政情報	28
(1) 行政情報の入手方法	28
(2) 必要としているまたは関心のある行政情報	29
5. 鹿児島市が行う情報化への取組	30
(1) 情報化施策の利用状況	30
(2) 情報化施策で効果を実感した状況	31
(3) 情報化による市民サービスの利用意向	32
(4) 行政情報を活用する際の課題	34
(5) オープンデータとして公開すべき情報	35
(6) 情報化に対する不満や不安	36
(7) 情報化施策についての自由意見	39
III. 資料 調査票	39

I. 調査の概要

■ 調査目的

現行の第四次地域情報化計画の期間終了を令和3年度末に控え、本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期地域情報化計画の策定に活用するため、市民意識調査を行うものである。

■ 調査対象者

16歳以上80歳未満の鹿児島市民

■ 対象者抽出方法

本市の住民基本台帳（令和2年4月現在）から年齢階層別・性別・地域別人口構成により無作為抽出。

	男	女	合計
10代	87人	91人	178人
20代	201人	229人	430人
30代	251人	282人	533人
40代	302人	334人	636人
50代	263人	302人	565人
60代	303人	331人	634人
70代	240人	284人	524人
合計	1,647人	1,853人	3,500人

■ 調査方法

郵送配付、郵送又は「鹿児島県電子申請共同運営システム（以下「電子申請という。」）」による回収

■ 調査期間

令和2年8月5日(水)～令和2年8月31日(月)

■ 有効回答数

1,784件(回答率51.0%)

(うち、電子申請による回答233件(回答率6.7%))

■ 調査結果の留意事項

- ・ 図表中の N は回答者全員、n は限定された回答者の数（母数）であり、回答率（%）の分母である。
- ・ 回答率は百分比の小数以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 2 つ以上の回答を要する（複数回答）設問の場合、その回答比率の合計は原則として 100%を超える。
- ・ 複数の回答率の総和は、回答者の実数の総和から算出した数値を端数処理しているため、図表中の回答率の総和とは一致しない場合がある。
- ・ 設問によっては、総務省が実施した令和元年通信利用動向調査（以下「全国」という。）の結果と比較、分析を行った。
- ・ 設問によっては、本市が実施した平成 23 年度調査（以下「前々回調査」という。）及び平成 28 年度調査（以下「前回調査」という。）の結果と比較、分析を行った。

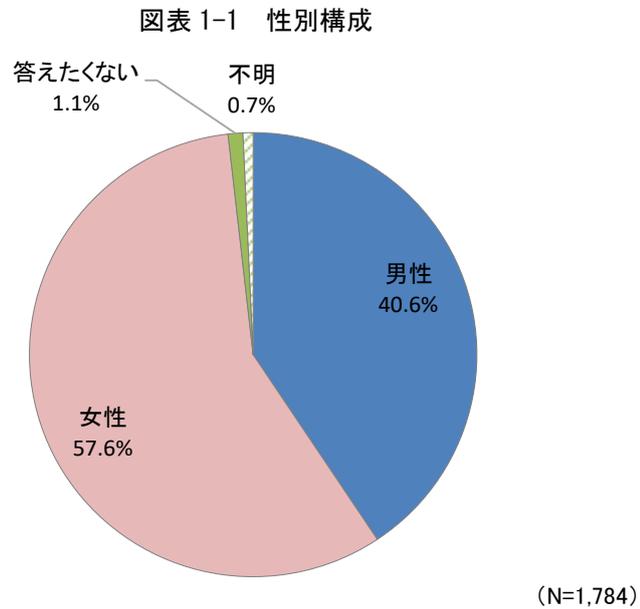
	前々回調査	前回調査
実施時期	平成 23 年 8 月 平成 23 年 12 月～24 年 1 月 (高校生)	平成 28 年 8 月
調査対象者	16 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民	16 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民
調査方法	郵送配付、郵送 又は電子申請による回収 (高校生を除く) 学校による直接配布、直接回収 (高校生)	郵送配付、郵送 又は電子申請による回収
調査対象者数	3,200 人	3,500 人
回答数	1,584 件 (うち、電子申請 24 件)	1,664 件 (うち、電子申請 99 件)
回答率	49.5% (うち、電子申請 0.8%)	47.5% (うち、電子申請 2.8%)

II. 調査結果

1. 回答者の基本属性

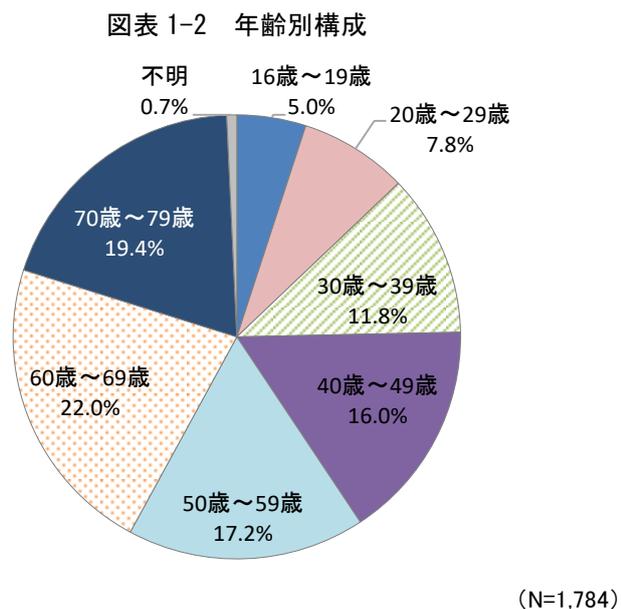
(1) 性別構成

性別については「男性」が40.6%、「女性」が57.6%、「答えたくない」が1.1%となっている。



(2) 年齢別構成

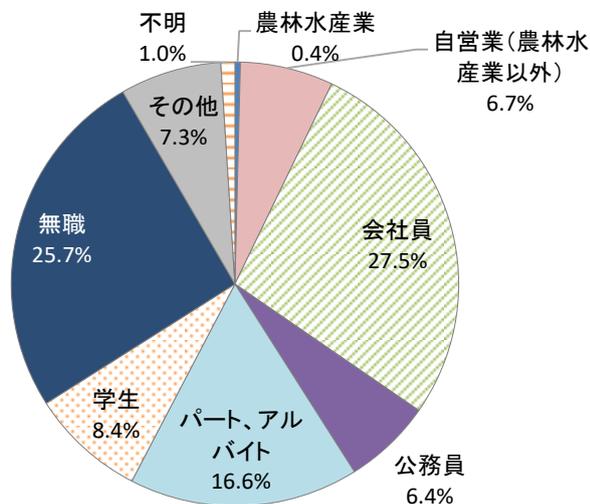
年齢については、「60歳～69歳」が22.0%で最も多く、次いで「70歳～79歳」が19.4%、「50歳～59歳」が17.2%となっている。



(3)職業別構成

職業については、「会社員」が27.5%で最も多く、次いで「無職」が25.7%、「パート、アルバイト」が16.6%となっている。

図表 1-3 職業別構成

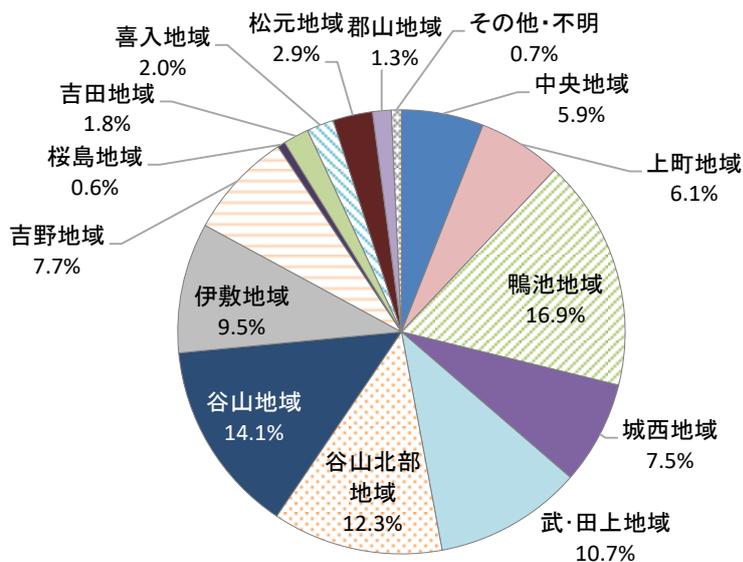


(N=1,784)

(4)地域別構成

居住地については、「鴨池地域」が16.9%と最も多く、次いで「谷山地域」が14.1%、「谷山北部地域」が12.3%となっている。

図表 1-4 地域別構成



(N=1,784)

2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況

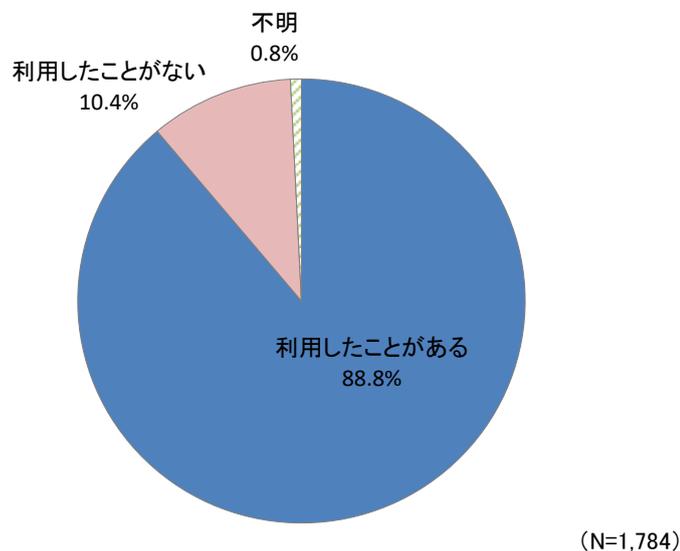
(1) 世帯でのインターネット利用状況

問 1. あなたの世帯では、ご家族のどなたかが過去 1 年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号 1 つに○印をつけてください。〈単一回答〉

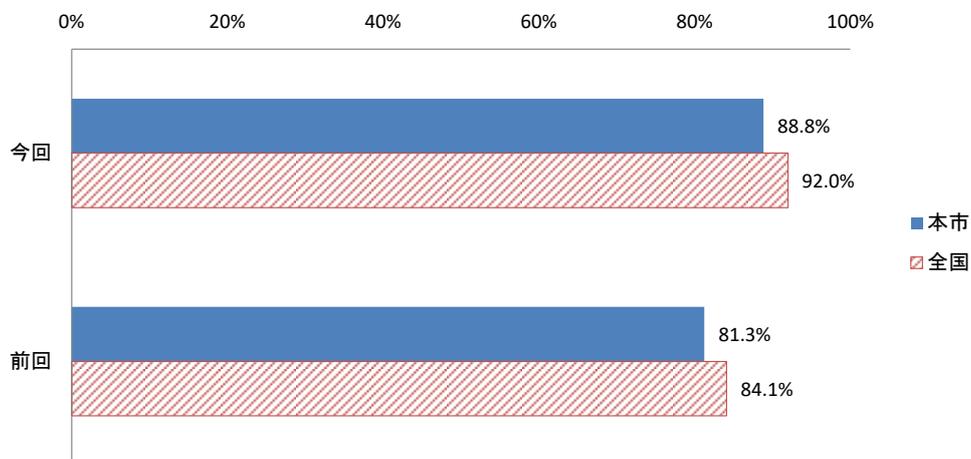
世帯でのインターネットの利用状況については、「利用したことがある」が 88.8%、「利用したことがない」が 10.4%となっている。（図表 2-1 参照）

インターネットを利用している世帯を前回と比較すると、7.5 ポイント増加している。前回は全国平均と比較して、2.8 ポイント下回っていたが、今回は 3.2 ポイント下回っているものの、インターネットを利用する機会が多くなったことが伺える。（図表 2-2 参照）

図表 2-1 インターネット利用状況（世帯）

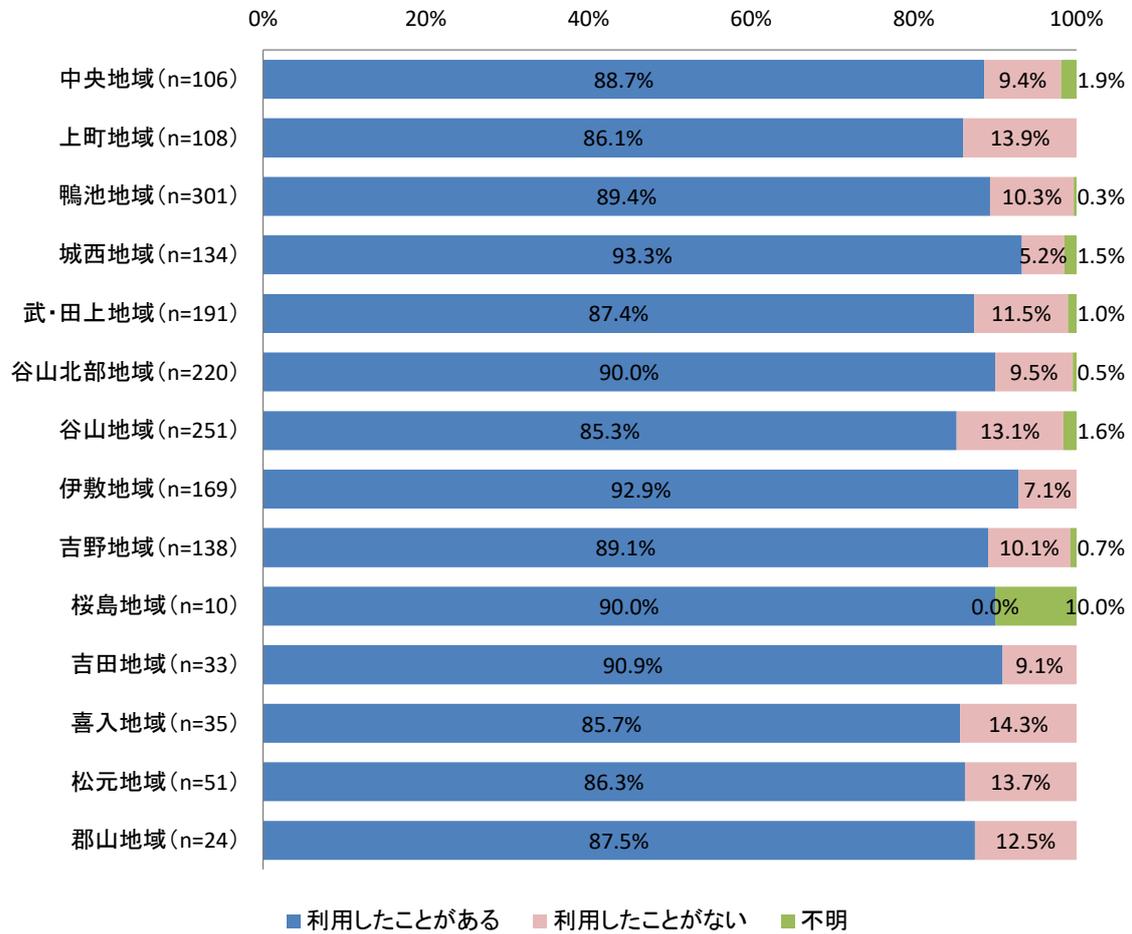


図表 2-2 インターネット利用状況（世帯）の推移



地域別にみると、全ての地域で「利用したことがある」が約8割以上となっている。(図表2-3参照)

図表 2-3 地域別のインターネット利用状況（世帯）



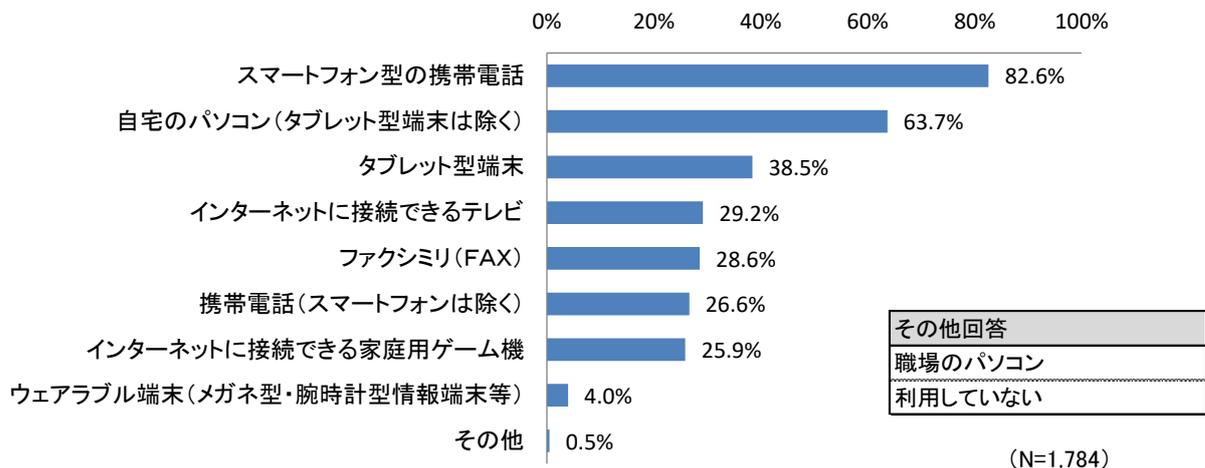
(2)情報通信機器の保有率

問2(1). あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。(ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。) <複数回答>

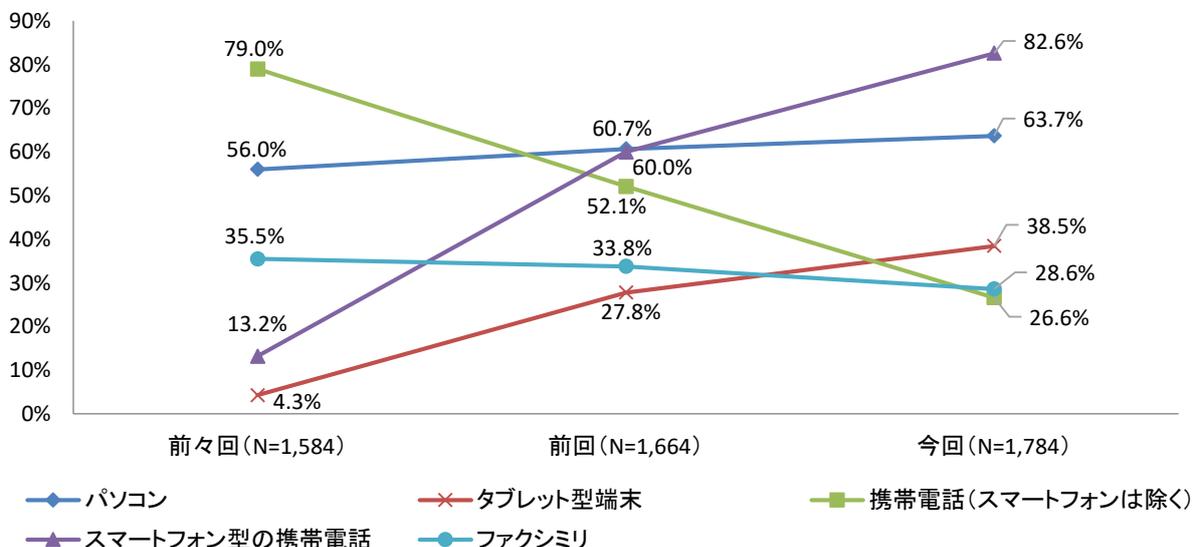
家庭における情報通信機器の保有率については、「スマートフォン型の携帯電話」が82.6%と最も多く、次いで「自宅のパソコン(タブレット型端末は除く)」が63.7%、「タブレット型端末」が38.5%となっている。なお「ウェアラブル端末(メガネ型・腕時計型情報端末等)」は今回初調査となっている。(図表2-4参照)

保有率の推移をみると、前回と比較して「携帯電話(スマートフォンは除く)」が25.5ポイントと大きく減少した一方、「スマートフォン型の携帯電話」が22.6ポイントと増加しており、保有率の最も高い情報通信機器となっている。また、「タブレット型端末」も10.7ポイント増加しており、「スマートフォン型の携帯電話」、「タブレット型端末」の普及が伺える結果となっている。(図表2-5参照)

図表 2-4 情報通信機器の保有率



図表 2-5 主な情報通信機器の保有率の推移



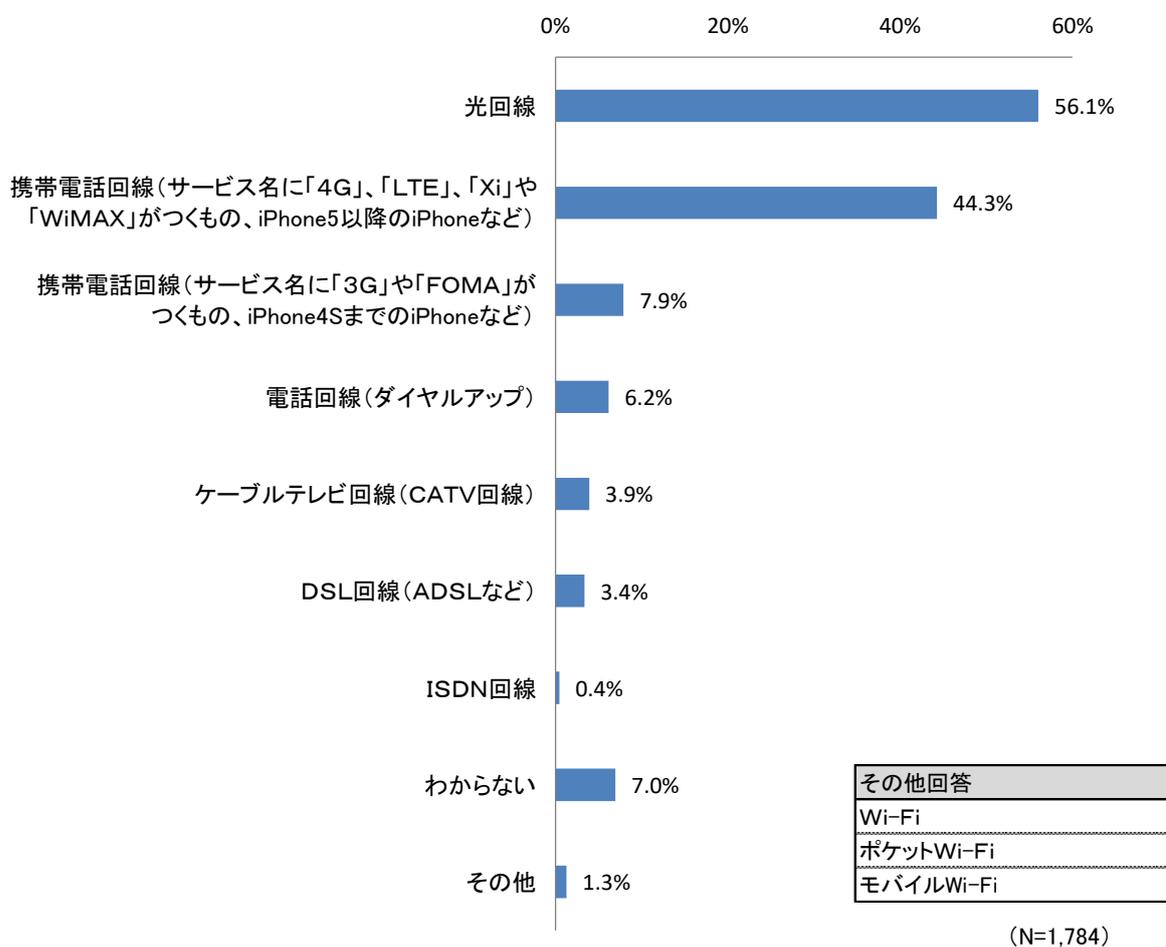
※比較上の注意点
・前々回調査では「携帯電話」「PHS」が分かれていたため、値は合算値で表示(図表2-5)

(3) 自宅でのインターネット接続回線

問2(2). 「自宅」でインターネットを利用している場合、どのような回線で利用していますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

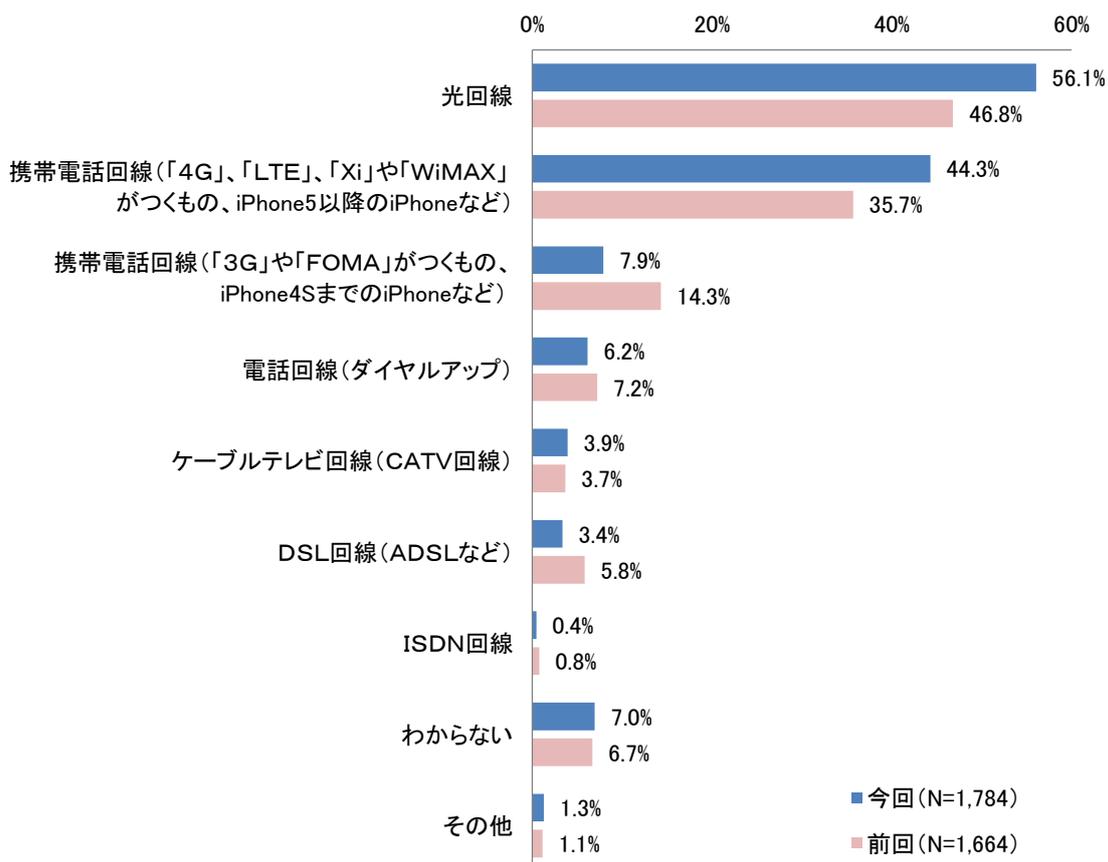
自宅でのインターネット接続回線については、「光回線」が56.1%と最も多く、次いで「携帯電話回線（サービス名に「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5以降のiPhoneなど）」が44.3%、「携帯電話回線（サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの、iPhone4SまでのiPhoneなど）」が7.9%となっている。（図表2-6参照）

図表2-6 自宅でのインターネット接続回線



前回と比較すると、最も回答の多かった「光回線」は9.3ポイント、2番目に回答の多かった「携帯電話回線（サービス名に「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5以降のiPhoneなど）」は8.6ポイント増加している一方、「携帯電話回線（サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの、iPhone4SまでのiPhoneなど）」が6.4ポイント、「DSL回線（ADSLなど）」が2.4ポイント減少となっている。（図表2-7参照）

図表 2-7 自宅でのインターネット接続回線の比較

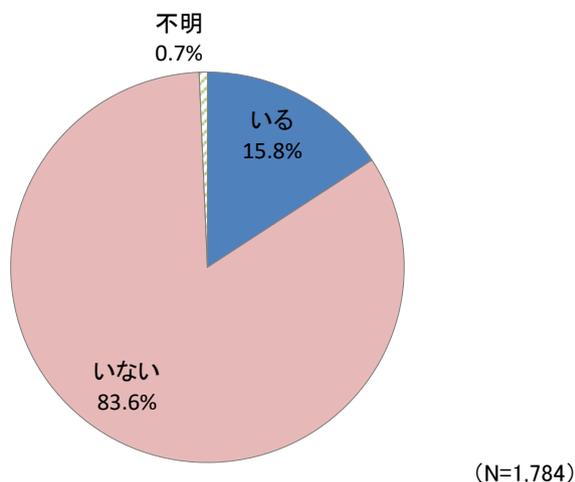


(4)小中学生の子ども専用のタブレット型端末等の保有状況

問3(1). あなたの世帯には、小中学生の子どもがいますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

小中学生の子どもについては、「いる」が15.8%、「いない」が83.6%となっている。(図表2-8参照)

図表2-8 小中学生の子どもの有無



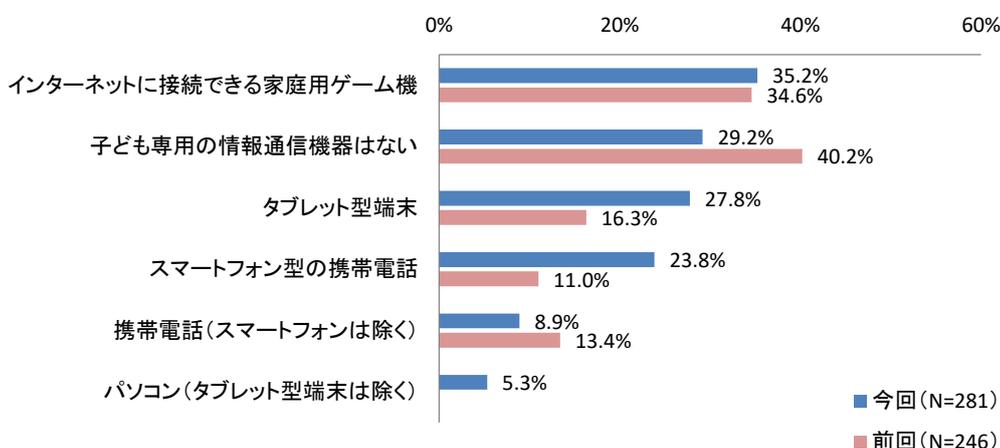
問3(2). 問3(1)で「1. いる」を選んだ方におたずねします。

あなたの世帯には、小中学生の子ども専用のタブレット型端末等がありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

子ども専用のタブレット型端末等があるかについては、「インターネットに接続できる家庭用ゲーム機」が35.2%と最も多く、次いで「子ども専用の情報通信機器はない」が29.2%、「タブレット型端末」が27.8%となっている。

前回との比較では、「スマートフォン型の携帯電話」が12.8ポイント、「タブレット型端末」が11.5ポイント増加している一方、「子ども専用の情報通信機器はない」が11.0ポイント、「携帯電話(スマートフォンは除く)」が4.5ポイント減少している。(図表2-9参照)

図表2-9 子ども専用のタブレット型端末等の保有状況



※比較上の注意点

・前回調査では「パソコン(タブレット型端末は除く)」は選択肢になかった(図表2-9)

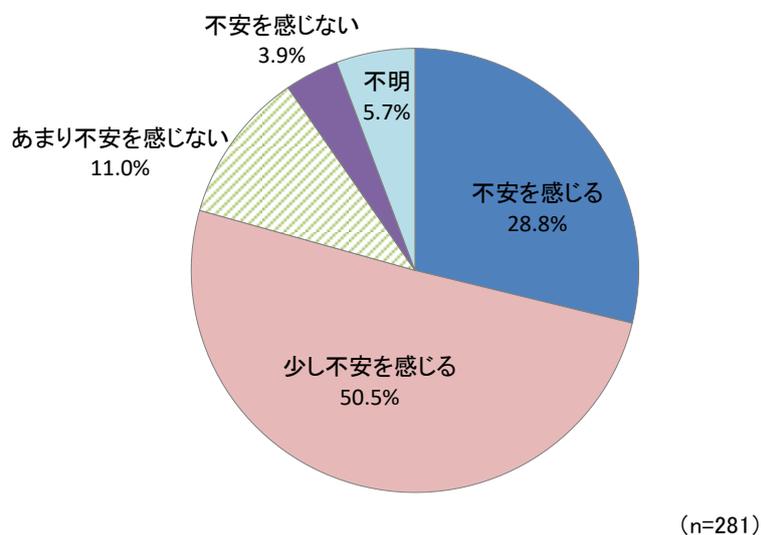
問3 (3). 問3 (1) で「1. いる」を選んだ方におたずねします。

小中学生の子どもが専用のタブレット型端末、携帯電話、スマートフォン、インターネットに接続できる家庭用ゲーム機を保有することに対して、不安を感じますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

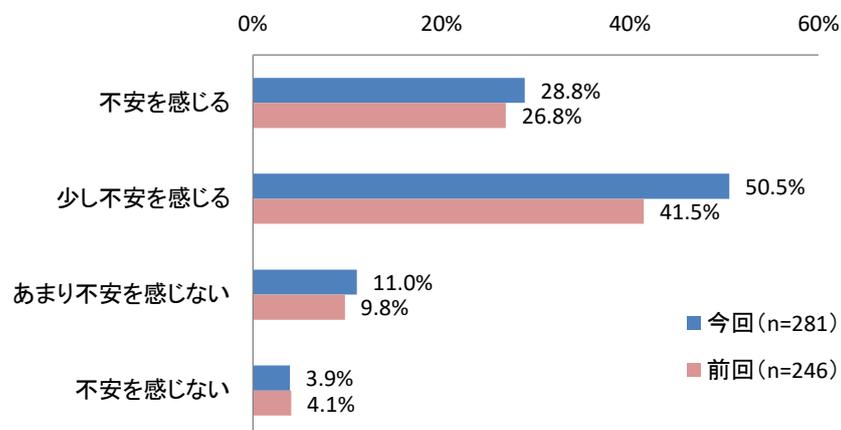
子どもが専用のタブレット型端末等を保有することに不安を感じるかについては、「少し不安を感じる」が50.5%と最も多く、次いで「不安を感じる」が28.8%、「あまり不安を感じない」が11.0%となっている。「不安を感じる」「少し不安を感じる」の割合は79.3%を占めており、機器を保有することを多くの親が不安に感じている。(図表2-10 参照)

前回との比較では、「少し不安を感じる」と回答した世帯が9.0ポイント増加している。(図表2-11 参照)

図表2-10 子ども専用のタブレット型端末等の保有に対する不安感



図表2-11 子ども専用のタブレット型端末等の保有に対する不安感 (前回調査との比較)



3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況

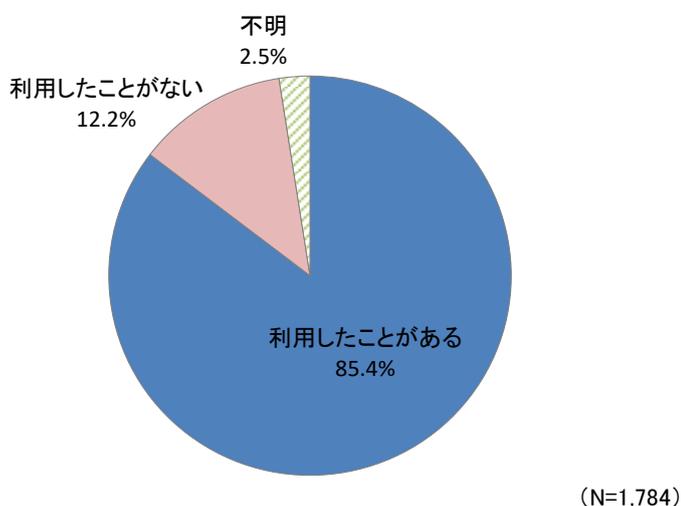
(1)個人でのインターネット利用状況

問4. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。＜単一回答＞

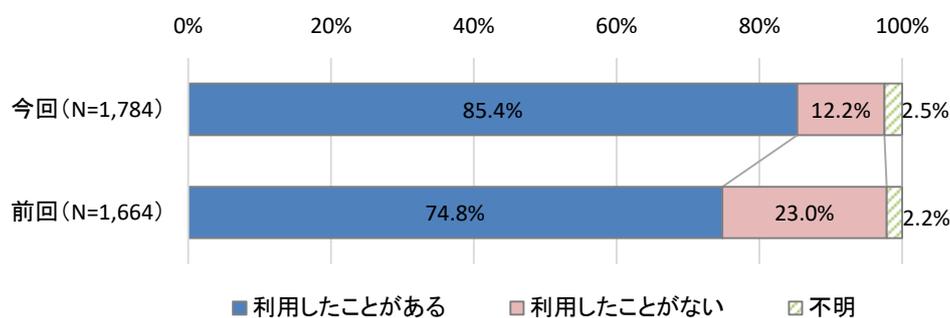
個人でのインターネット利用状況については、「利用したことがある」が85.4%、「利用したことがない」が12.2%となっている。（図表3-1参照）

前回との比較では、インターネットを「利用したことがない」が10.8ポイント減少している。（図表3-2参照）

図表3-1 インターネット利用状況（個人）

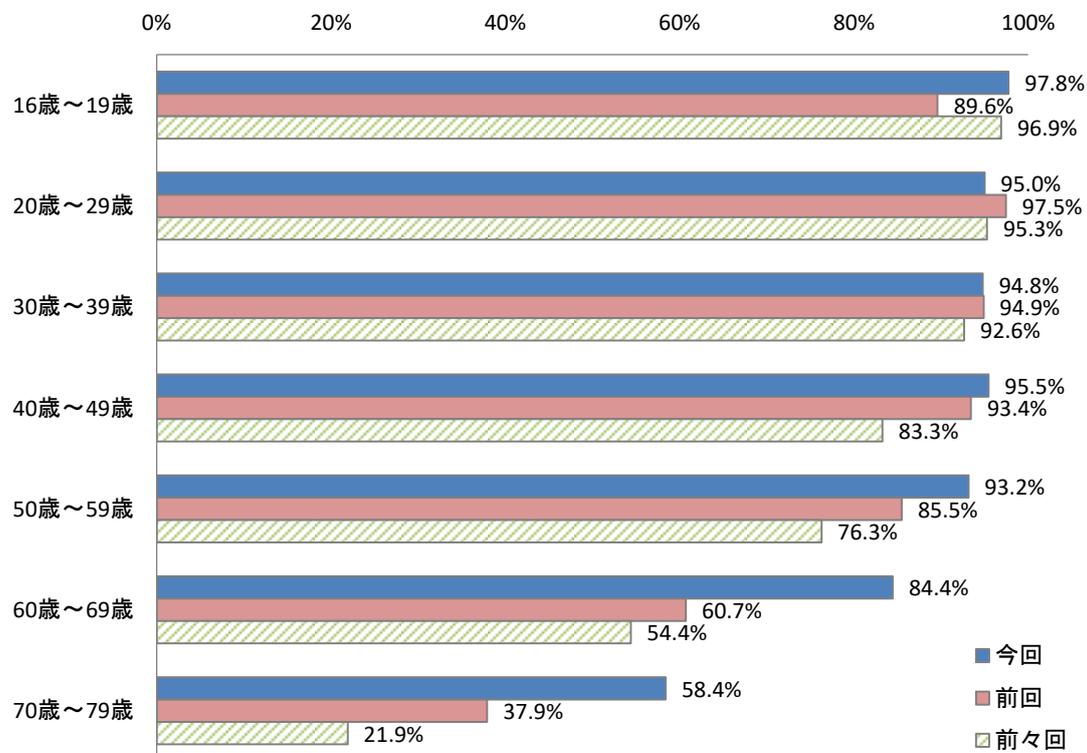


図表3-2 インターネット利用状況（個人）（前回調査との比較）



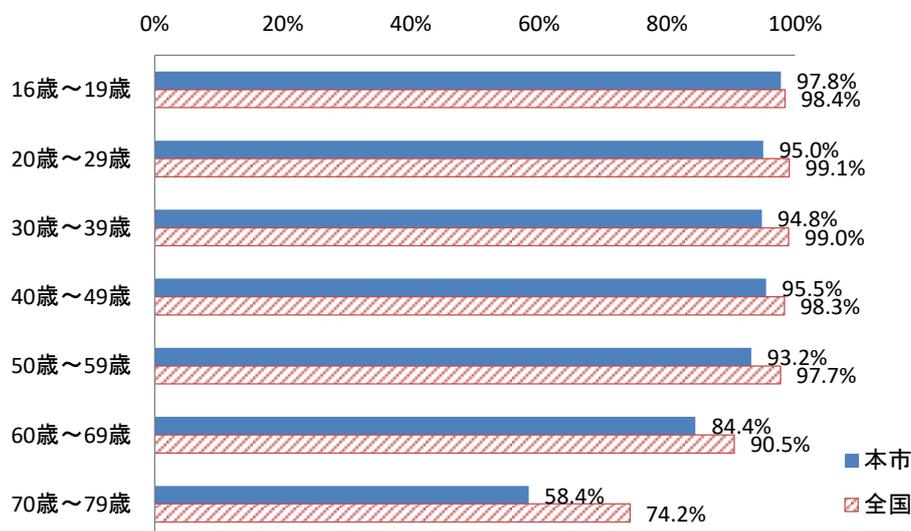
年齢階層別のインターネット利用状況の推移について、前回と比較すると、「60歳～69歳」が23.7ポイント、「70歳～79歳」が20.5ポイントとそれぞれ20ポイント以上増加している。（図表3-3参照）

図表3-3 年齢階層別のインターネット利用状況（個人）の推移



年齢階層別に全国平均と比較すると、全ての年代において全国平均を下回っており、70代においては15.8ポイント下回っている。(図表3-4参照)

図表3-4 年齢階層別のインターネット利用状況（個人）（本調査と全国平均との比較）



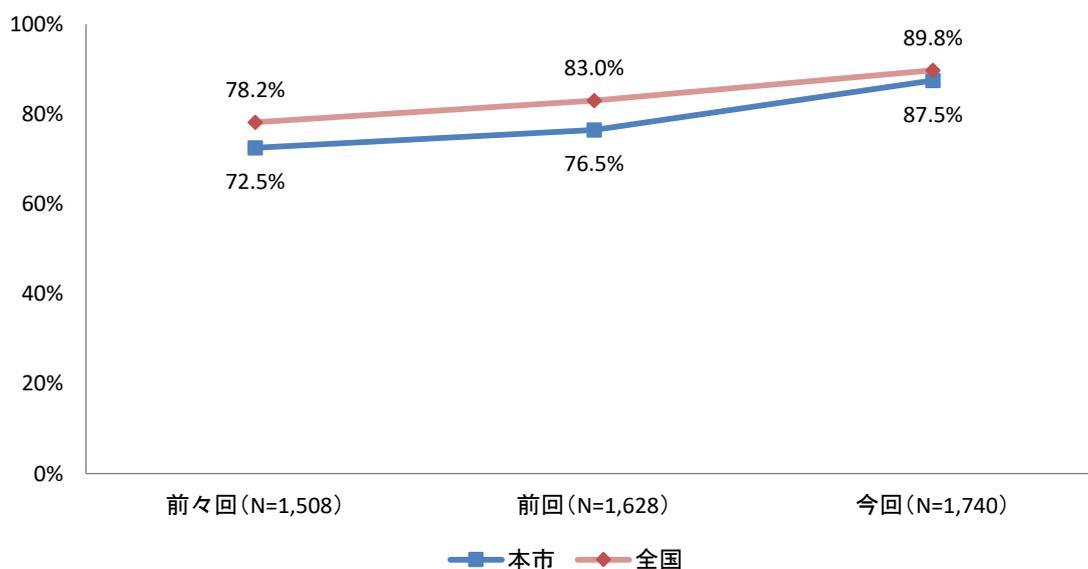
※比較上の注意点

全国の「16～19歳」は「13～19歳」の数値を表記している（図表3-4）

個人でのインターネット利用状況の推移については、前回と比較して11.0ポイント、前々回と比較して15.0ポイント増加している。

また、全国平均と比較すると、2.3ポイント下回っている。(図表3-5参照)

図表3-5 インターネット利用状況（個人）の推移（本調査と全国平均との比較）



※比較上の注意点

全国値が無回答を除く値を用いているため、本市の値も無回答を除いている。(図表3-5)

(2)インターネットの利用機器

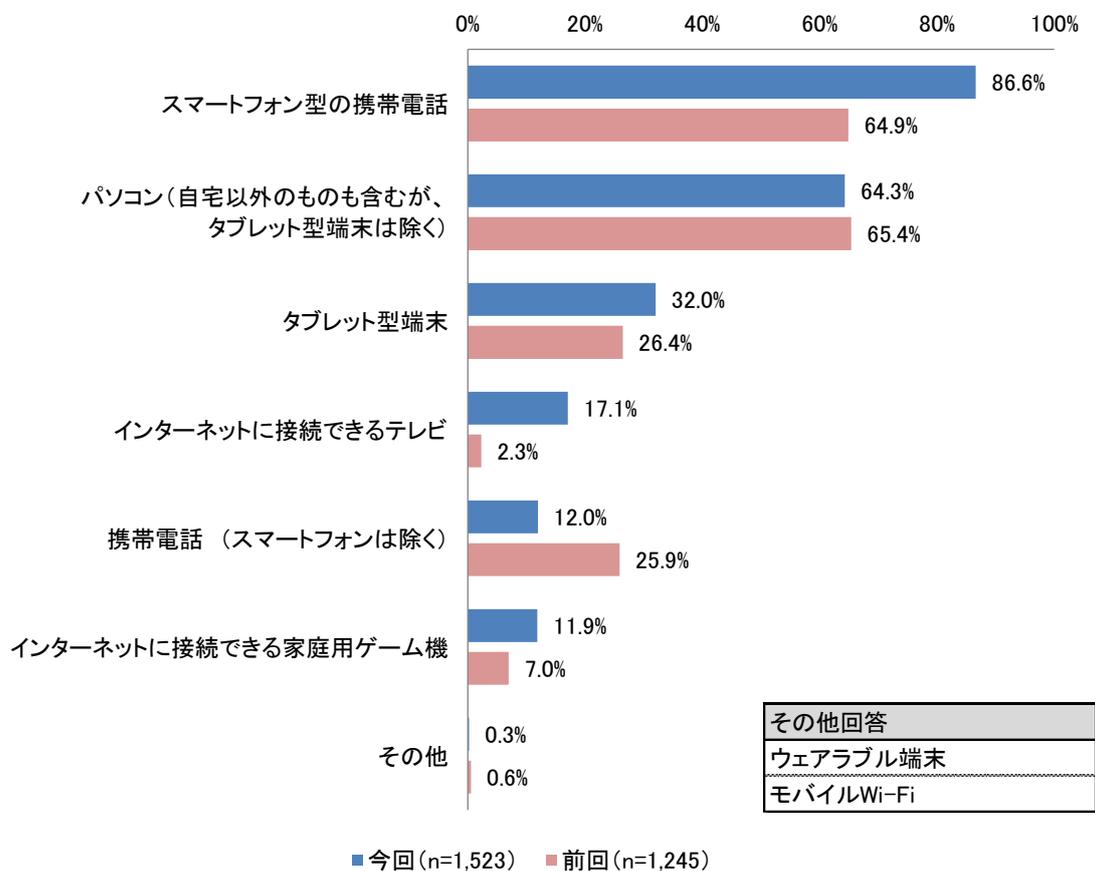
問5. 問4で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

インターネットで利用した機器については、「スマートフォン型の携帯電話」が86.6%と最も多く、次いで「パソコン（自宅以外のもも含むが、タブレット型端末は除く）」が64.3%、「タブレット型端末」が32.0%、「インターネットに接続できるテレビ」が17.1%となっている。

前回と比較すると、「スマートフォン型の携帯電話」が21.7ポイント、「タブレット型端末」が5.6ポイント、「インターネットに接続できるテレビ」が14.8ポイント増加している一方、「携帯電話（スマートフォンは除く）」は13.9ポイント減少している。（図表3-6参照）

図表 3-6 インターネットの利用機器



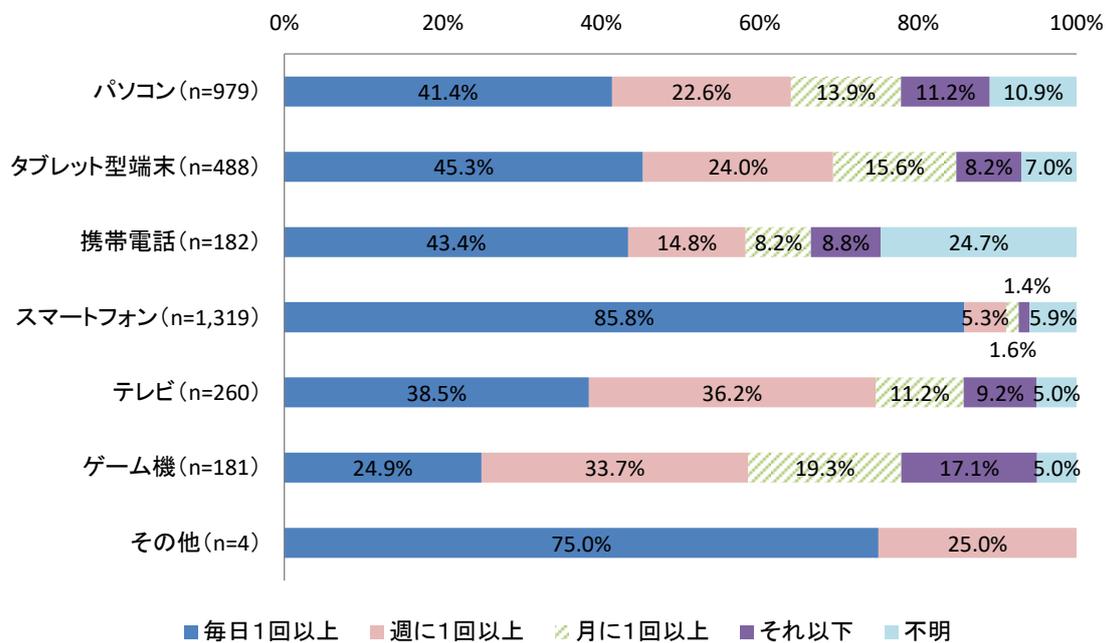
(3)インターネットの利用頻度

問5(2). インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。利用したことのある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

利用機器別のインターネット利用頻度については、「毎日1回以上」と回答した人は、「スマートフォン」で85.8%となっており、他に比べて大きな割合を占めている。「週に1回以上」の回答者を加えると、約9割が週に1回以上の頻度で利用している状況が伺える。

また、「スマートフォン」と「その他」以外では「毎日1回以上」の回答者はそれぞれ5割を下回っている。(図表3-7参照)

図表 3-7 利用機器別のインターネット利用頻度

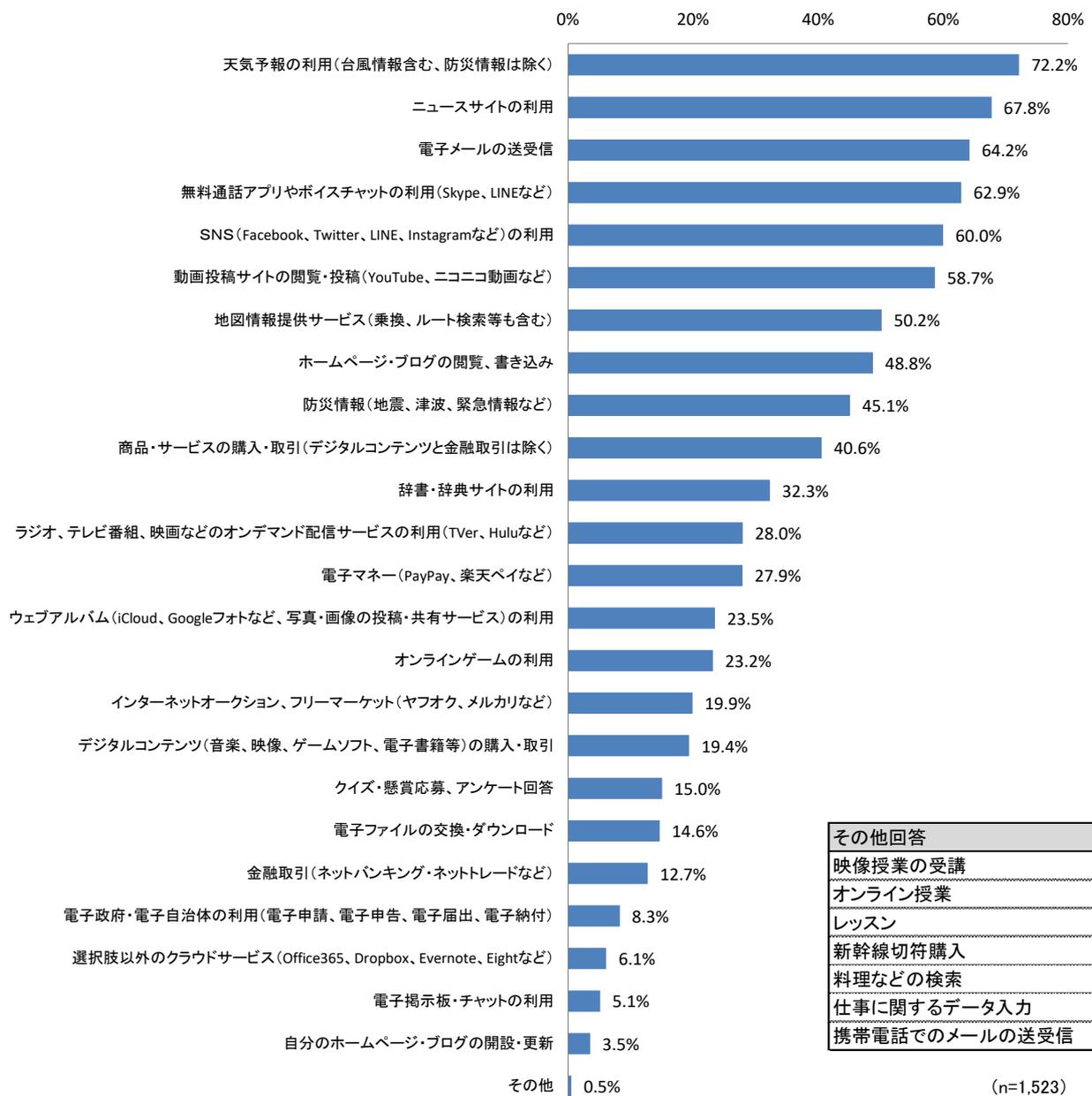


(4)インターネットで利用するサービス

問5(3). どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

インターネットで利用するサービスについては、「天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）」が72.2%と最も多く、次いで「ニュースサイトの利用」が67.8%、「電子メールの送受信」が64.2%、「無料通話アプリやボイスチャットの利用（Skype、LINEなど）」が62.9%となっている。（図表3-8参照）

図表3-8 インターネットで利用するサービス



年齢階層別にみると、10代～30代では「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」、40代～70代では「天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）」が最も多くなっている。（図表3-9参照）

図表3-9 年齢階層別のインターネットで利用するサービス

		1位	2位		
10代	SNS(Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど)の利用	85.1%	無料通話アプリやボイスチャットの利用(Skype、LINEなど)	83.9%	
20代			動画投稿サイトの閲覧・投稿 (YouTube、ニコニコ動画など)	85.7%	
30代				78.0%	
40代				75.1%	
50代	天気予報の利用 (台風情報含む、防災情報は除く)	78.4%	ニュースサイトの利用	77.3%	
60代				72.8%	65.3%
70代				61.4%	電子メールの送受信

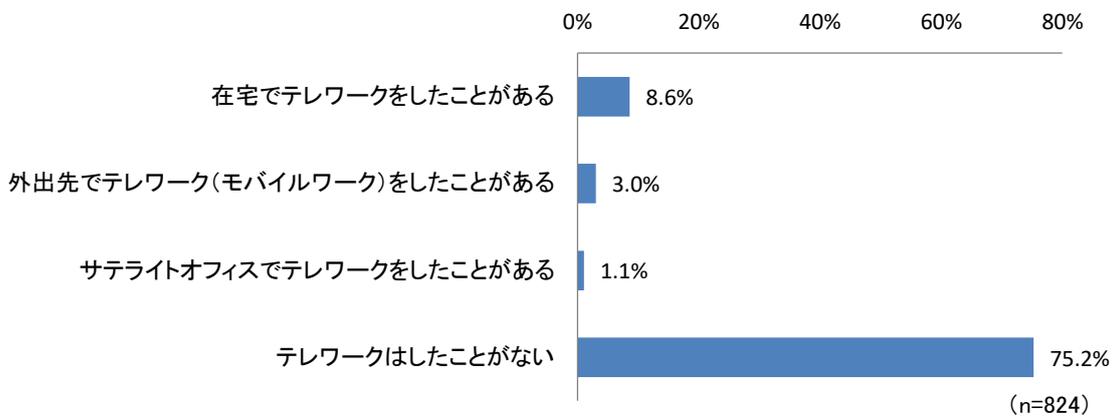
(5)テレワークの実施状況

問5 (4). 企業など（公的機関、団体を含む）に勤めている方（個人事業主は除く）におたずねします。

過去1年間に、インターネットを利用してテレワークをしたことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

インターネットを利用したテレワークの実施状況については、「テレワークはしたことがない」が75.2%と最も多く、次いで「在宅でテレワークをしたことがある」が8.6%、「外出先でテレワーク（モバイルワーク）をしたことがある」が3.0%、「サテライトオフィスでテレワークをしたことがある」が1.1%となっている。（図表3-10 参照）

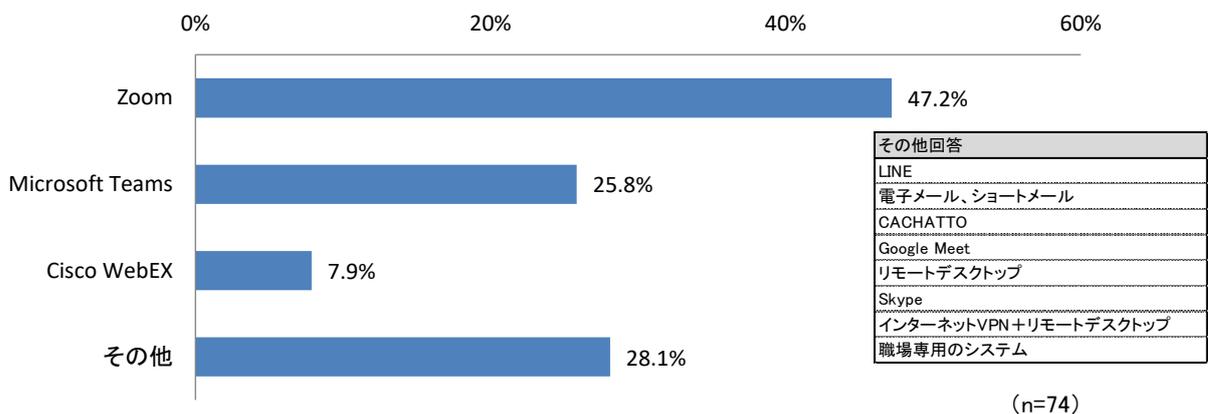
図表 3-10 テレワークの実施状況



問5 (5). 上記、問5 (4)で「4. テレワークはしたことがない」以外（1～3）を選んだ方におたずねします。テレワークやモバイルワークをされた際に、どのようなインターネットのサービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

テレワークをしたことがある人の、利用したインターネットサービスについては、「ZOOM」が47.2%と最も多く、次いで「Microsoft Teams」が25.8%、「Cisco WebEX」が7.9%となっている。（図表3-11 参照）

図表 3-11 テレワークの際の利用サービス



(6)インターネットの利用意向

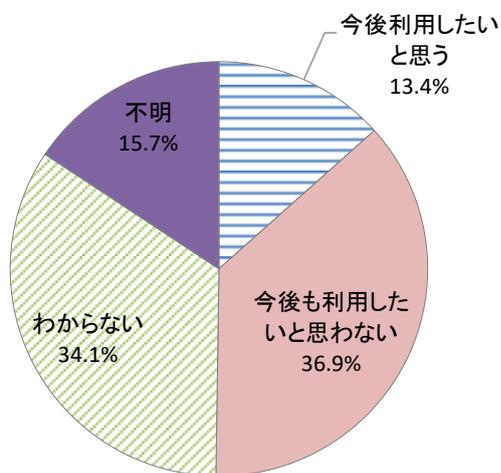
問5 (6). 問4で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。

今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。＜単一回答＞

今後インターネットを利用したいかについては、インターネット非利用者において、「今後利用したいと思う」が13.4%、「今後も利用したいと思わない」が36.9%で「今後利用したいと思う」を23.5ポイント上回った。(図表3-12 参照)

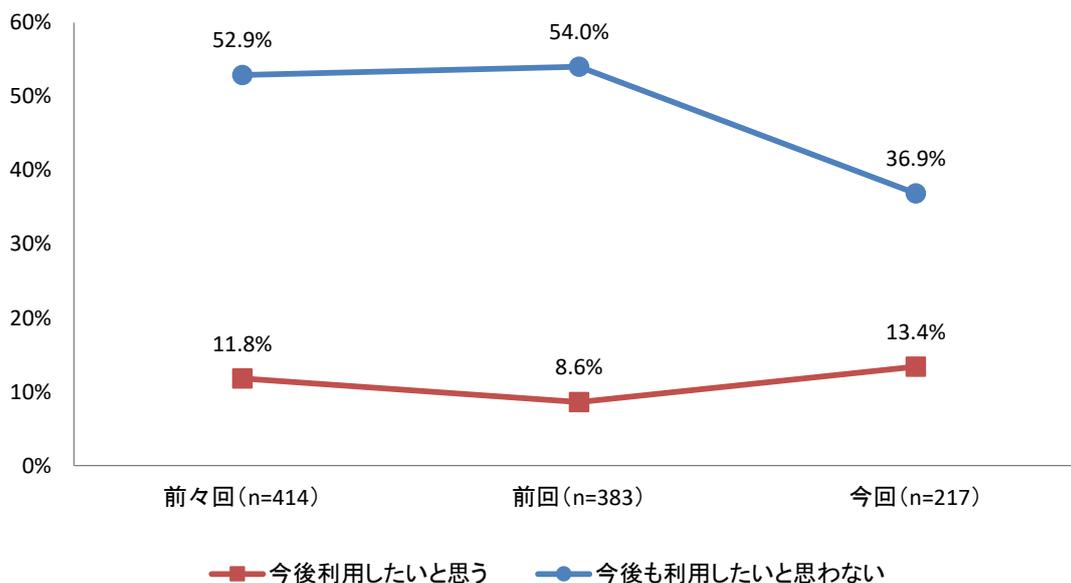
前回は「今後利用したいと思う」の割合は3.2ポイント減少、「今後も利用したいと思わない」の割合は1.1ポイント増加であったが、今回は、逆に「今後利用したいと思う」の割合は4.8ポイント増加、「今後も利用したいと思わない」の割合は17.1ポイント減少している。(図表3-13 参照)

図表3-12 インターネットの利用意向



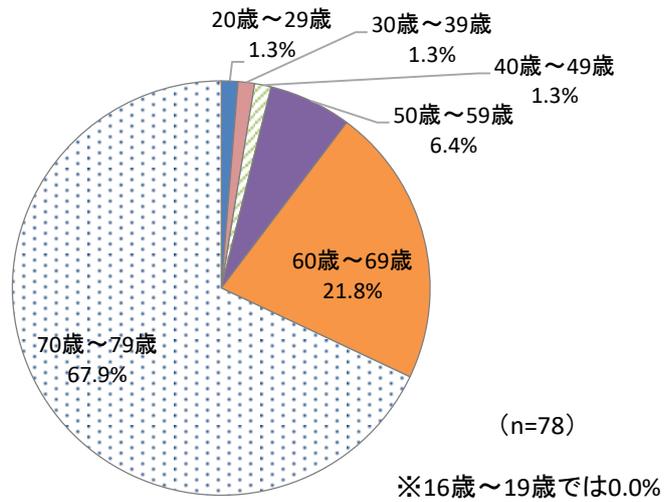
(n=217)

図表3-13 インターネットの利用意向の推移



「今後も利用したいと思わない」と回答の年齢構成は、「70歳～79歳」が67.9%、「60歳～69歳」が21.8%と、60歳以上が89.7%を占めている。(図表3-14参照)

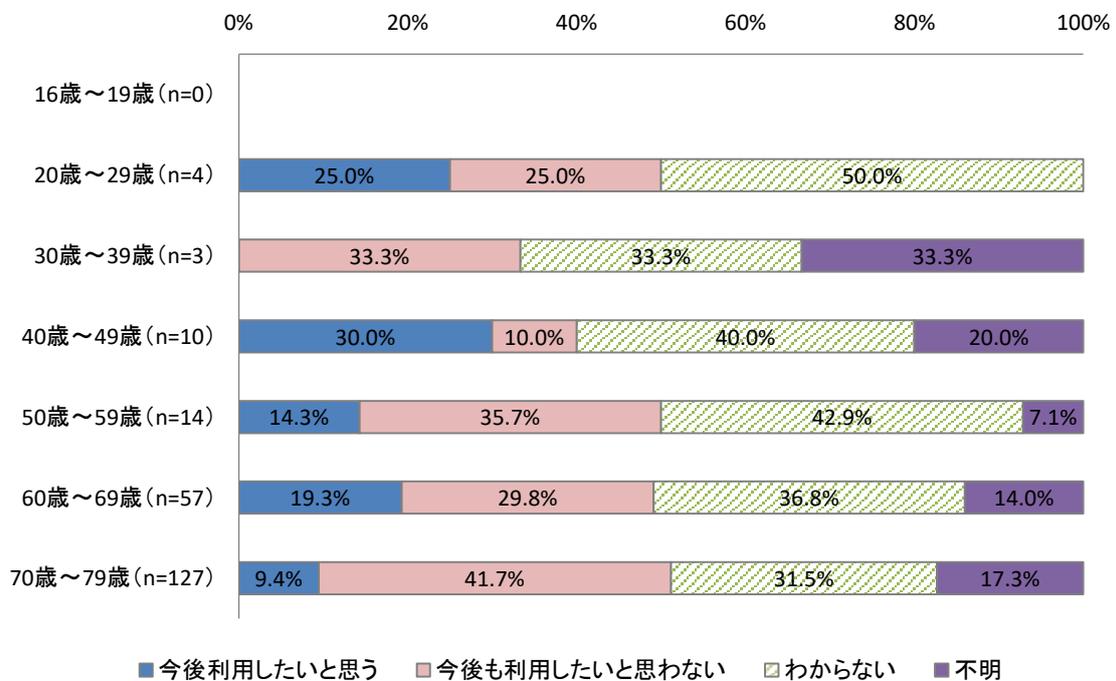
図表 3-14 「今後も利用したいと思わない」と回答の年齢構成



※無回答を除く。

年齢階層別にみると、「今後も利用したいと思わない」の割合は、70歳～79歳において41.7%となっている。(図表3-15参照)

図表 3-15 年齢階層別のインターネットの利用意向



(7)インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由

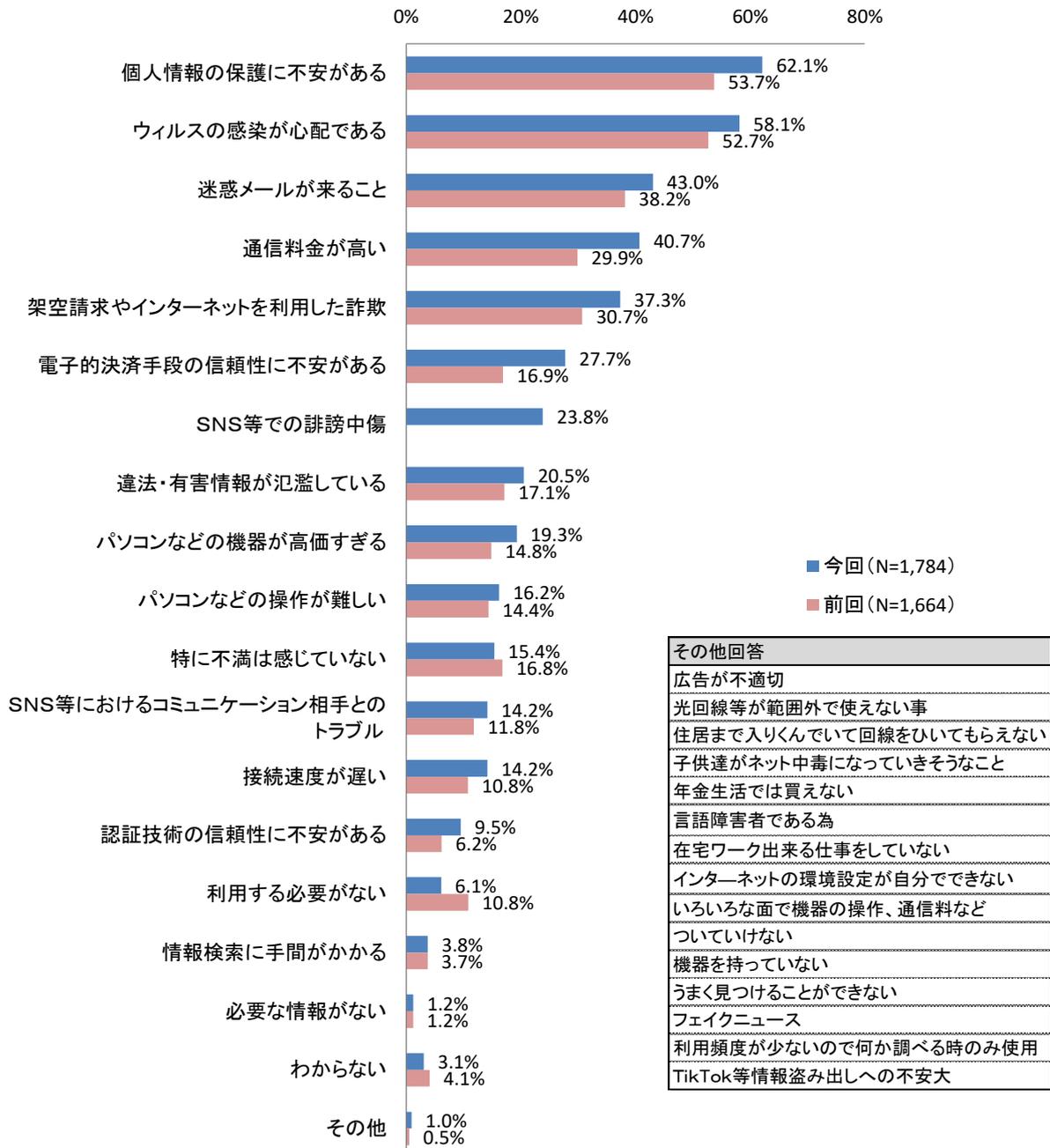
問6. すべての方におたずねします。

現在、インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由については、「個人情報の保護に不安がある」が62.1%と最も多く、次いで「ウィルスの感染が心配である」が58.1%、「迷惑メールが来ること」が43.0%となっている。

前回と比較すると、「個人情報の保護に不安がある」が8.4ポイントの増加、「ウィルスの感染が心配である」が5.4ポイントの増加、「迷惑メールが来ること」が4.8ポイントの増加となっている。(図表3-16参照)

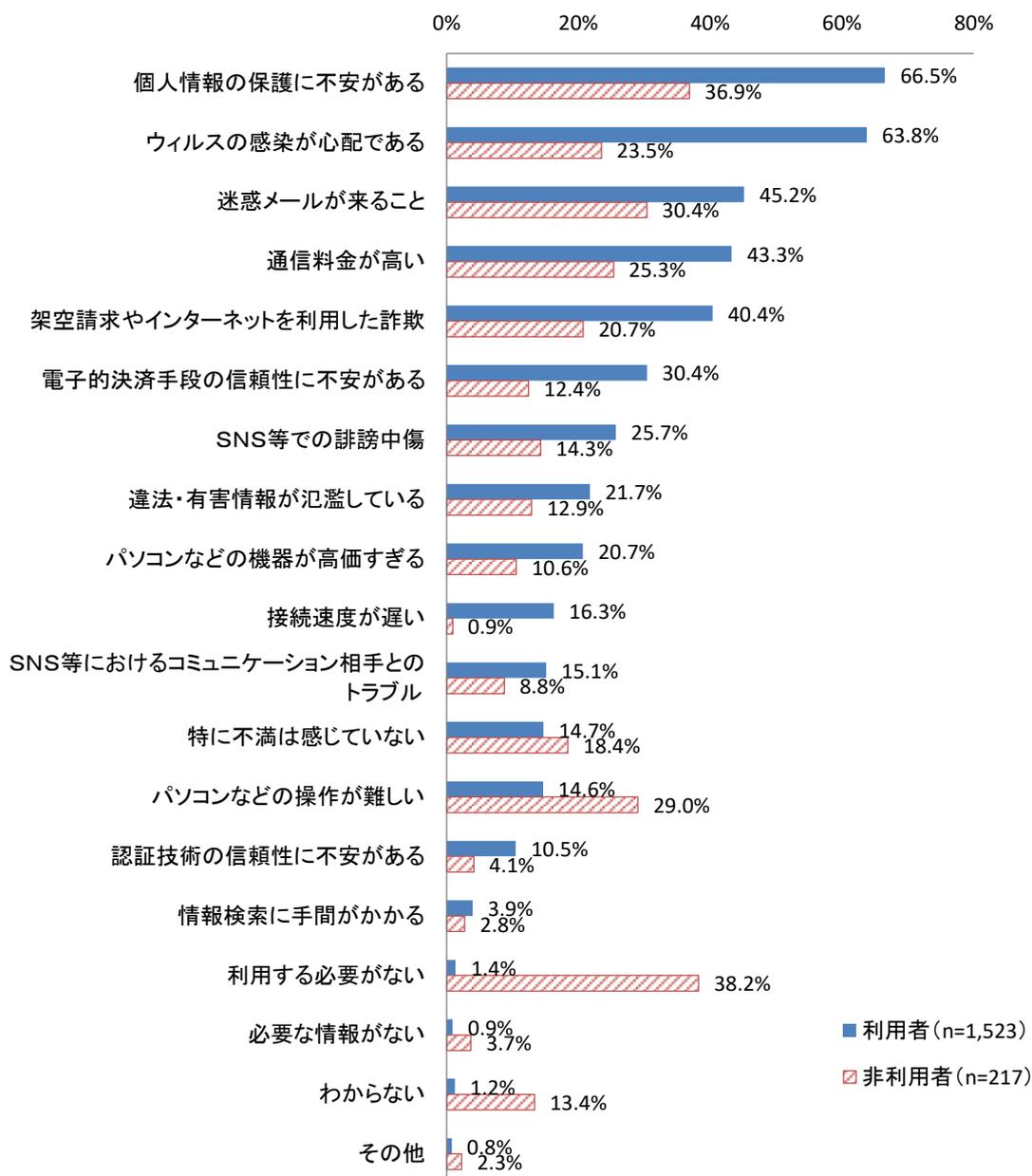
図表3-16 インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由



インターネット利用者において、インターネットを利用して感じる不安や不満については、「個人情報の保護に不安がある」が66.5%と最も多く、次いで「ウィルスの感染が心配である」が63.8%、「迷惑メールが来ること」が45.2%となっている。

一方、インターネット非利用者において、インターネットを利用しない理由については、「利用する必要がない」が38.2%と最も多く、次いで「個人情報の保護に不安がある」が36.9%、「迷惑メールが来ること」が30.4%となっている。(図表3-17参照)

図表 3-17 インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由の比較



年齢階層別にみると、各年代において、「個人情報の保護に不安がある」、「ウイルスの感染が心配である」といった、情報セキュリティに関する不安や不満が上位を占めている。(図表 3-18 参照)

図表 3-18 年齢階層別のインターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由

	1 位		2 位	
10 代	ウイルスの感染が心配である	49.4%	個人情報の保護に不安がある	44.9%
20 代	個人情報の保護に不安がある	57.1%	ウイルスの感染が心配である	53.6%
30 代	ウイルスの感染が心配である	69.2%	個人情報の保護に不安がある	66.8%
40 代	個人情報の保護に不安がある	74.8%	ウイルスの感染が心配である	68.5%
50 代		74.3%		70.0%
60 代		62.5%		58.7%
70 代		43.9%		36.4%

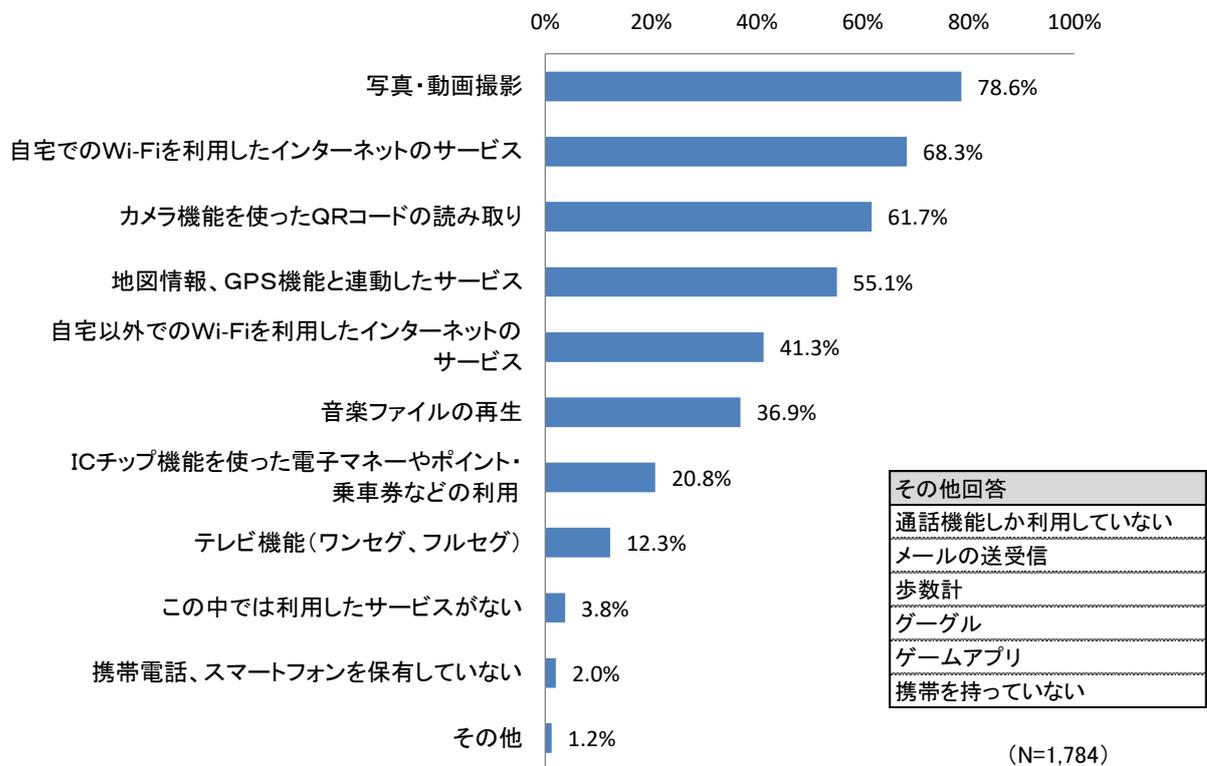
(8)携帯電話又はスマートフォンで利用した機能・サービス

問7. すべての方におたずねします。

あなたは、過去1年間に携帯電話又はスマートフォンでどのような機能・サービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

利用した機能・サービスについては、「写真・動画撮影」が78.6%と最も多く、次いで「自宅でのWi-Fiを利用したインターネットのサービス」が68.3%、「カメラ機能を使ったQRコードの読み取り」が61.7%、「地図情報、GPS機能と連動したサービス」が55.1%となっている。(図表3-19参照)

図表 3-19 携帯電話又はスマートフォンで利用した機能・サービス

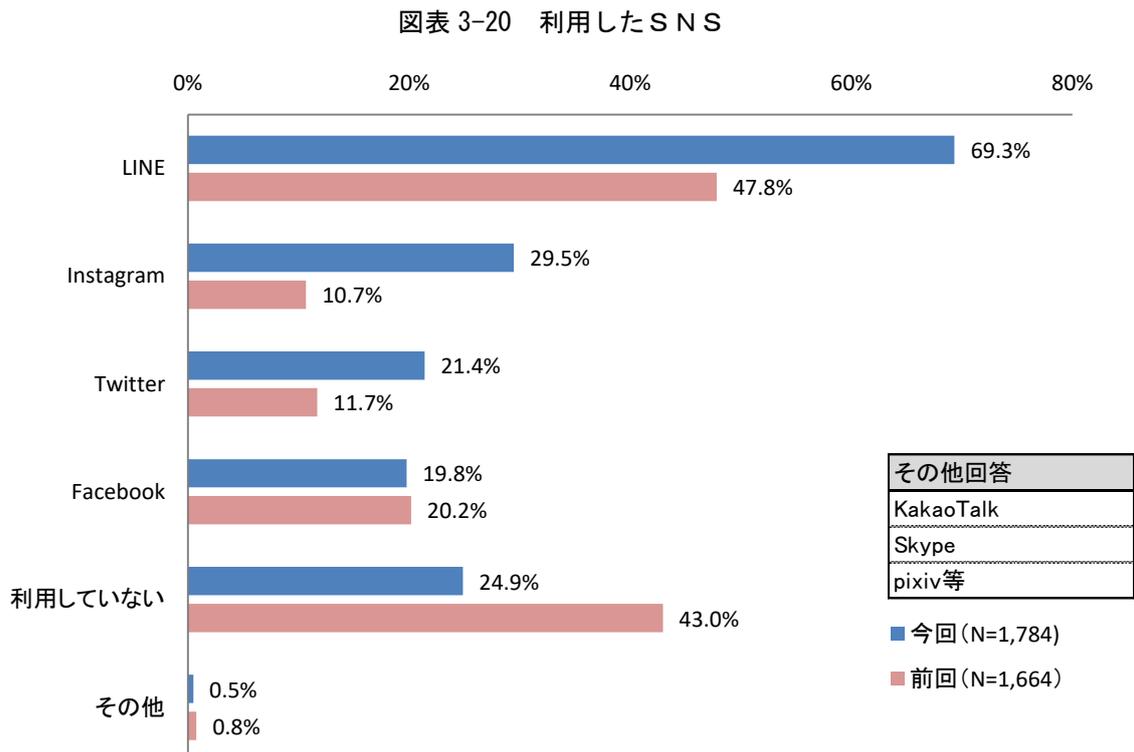


(9)利用したSNS

問8(1). あなたは、過去1年間にSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

利用したSNSについては、「LINE」が69.3%と最も多く、次いで「Instagram」が29.5%、「Twitter」が21.4%となっている。また、「利用していない」は24.9%となっている。

前回調査と比較すると、「LINE」が21.5ポイント、「Instagram」が18.8ポイントと大幅に増加しており、「利用していない」が18.1ポイント減少している。(図表3-20参照)

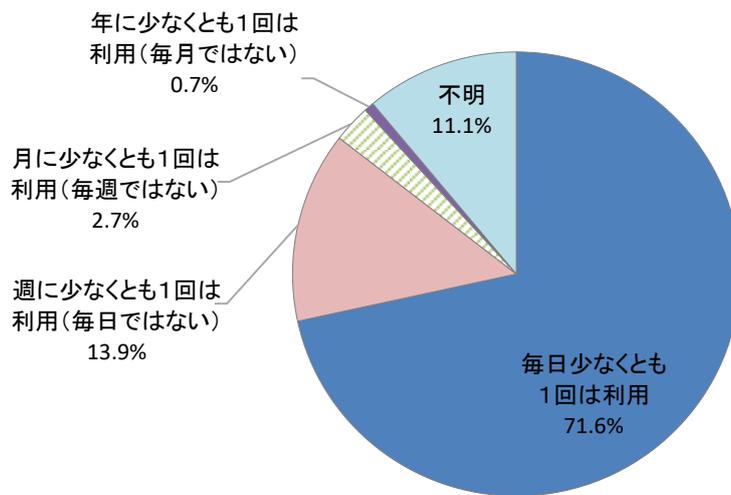


(10) SNSを利用する頻度

問8(2). あなたがSNSを利用する頻度はどのくらいですか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

SNSを利用する頻度については、「毎日少なくとも1回は利用」が71.6%と最も多く、次いで「週に少なくとも1回は利用(毎日ではない)」が13.9%、「月に少なくとも1回は利用(毎週ではない)」が2.7%となっている。(図表3-21参照)

図表3-21 SNSを利用する頻度



(n=1,218)

4. 鹿児島市が発信する行政情報

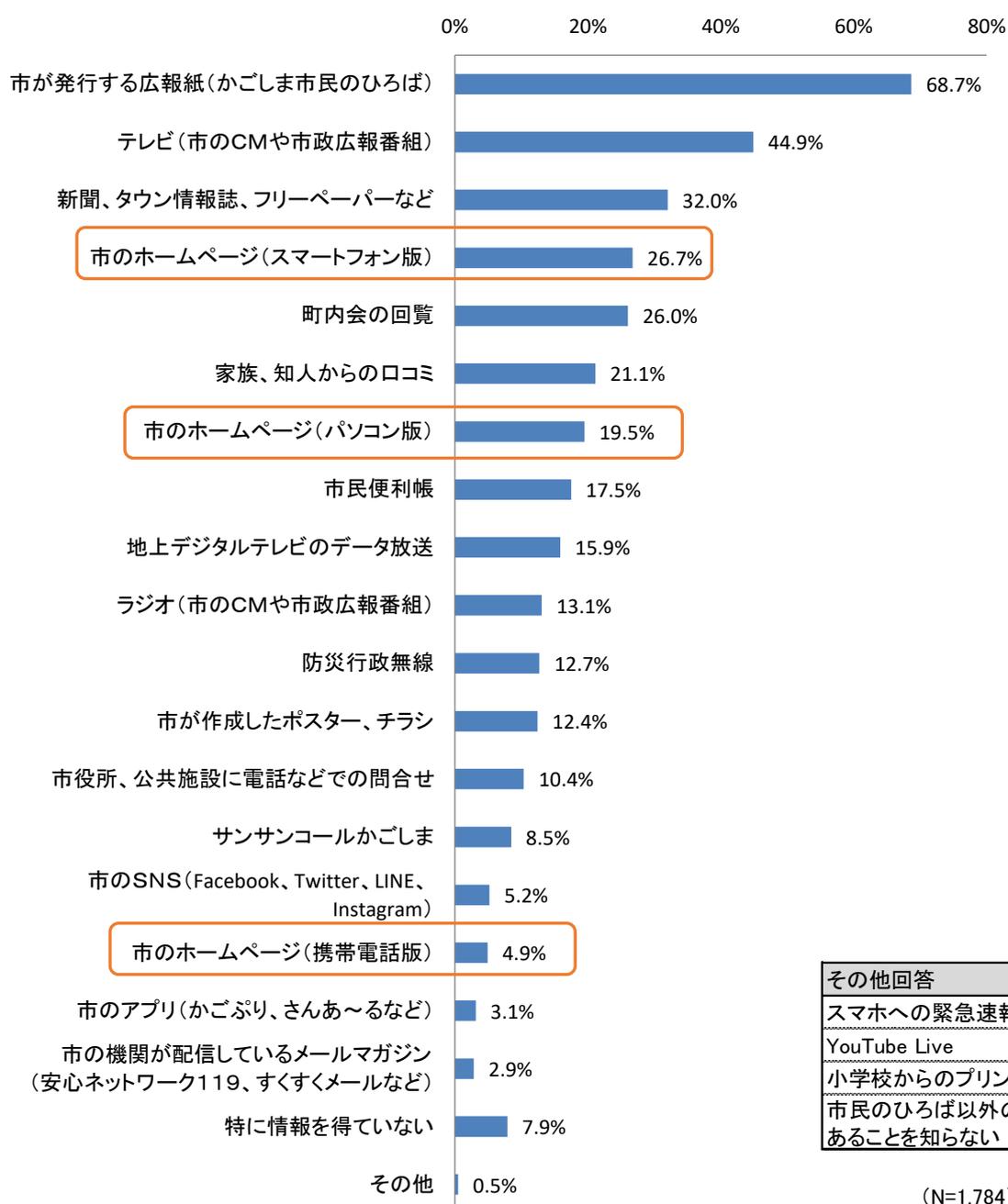
(1) 行政情報の入手方法

問9. あなたは、鹿児島市からの行政情報を、過去1年間にどのような方法で入手しましたか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

鹿児島市が発信する行政情報の入手方法については、「市が発行する広報紙（かごしま市民のひろば）」が68.7%と最も多く、次いで「テレビ（市のCMや市政広報番組）」が44.9%、「新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど」が32.0%となっている。

なお、「市のホームページ」の利用者については、スマートフォン版、パソコン版、携帯電話版をあわせて51.1%となっている。（図表4-1参照）

図表 4-1 行政情報の入手方法



その他回答
スマホへの緊急速報
YouTube Live
小学校からのプリント
市民のひろば以外の方法があることを知らない

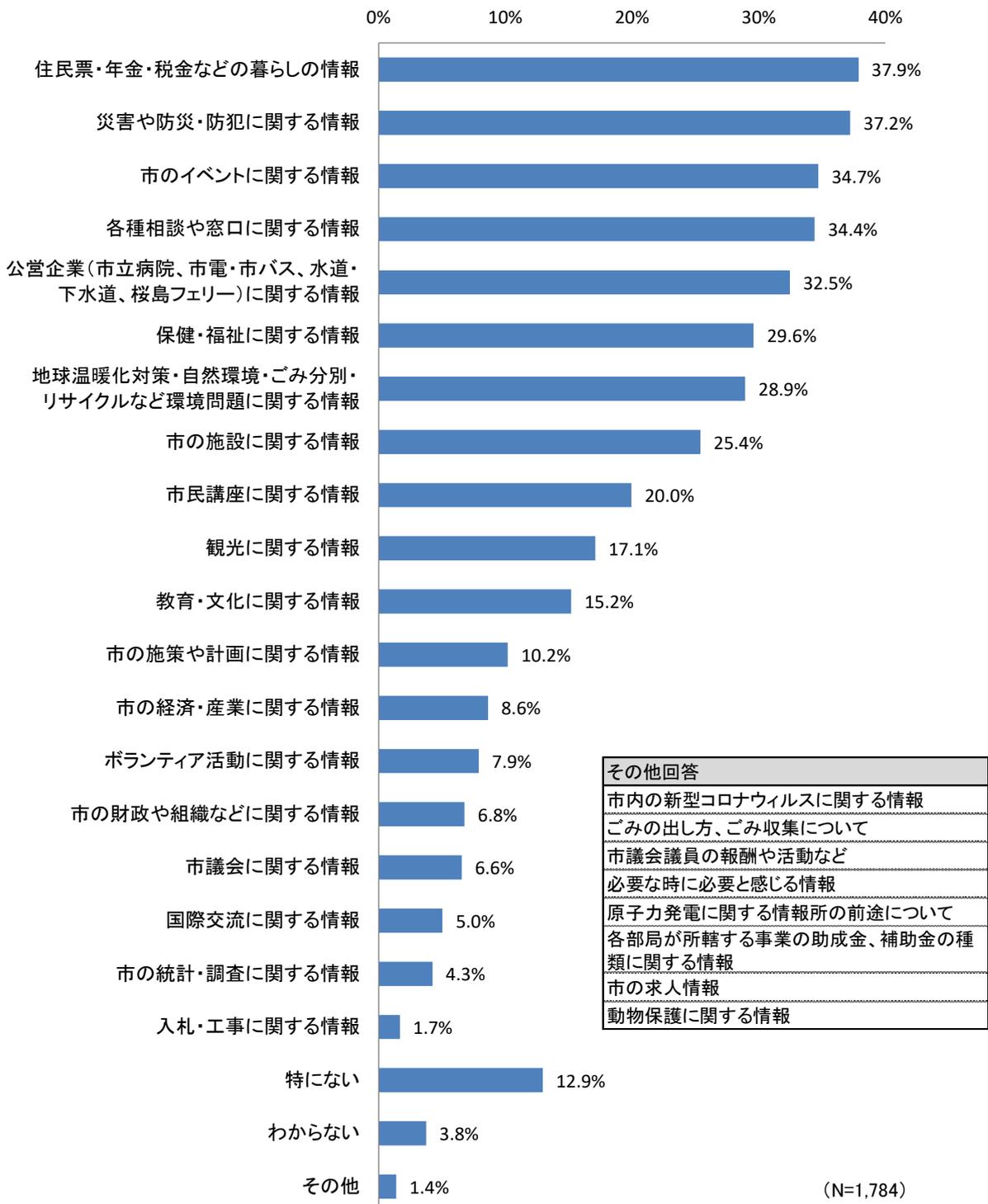
(N=1,784)

(2)必要としているまたは関心のある行政情報

問 10. あなたが現在必要としている、または関心のある鹿児島市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

必要としている、または関心のある市の情報については、「住民票・年金・税金などの暮らしの情報」が 37.9%と最も多く、次いで「災害や防災・防犯に関する情報」が 37.2%、「市のイベントに関する情報」が 34.7%、「各種相談や窓口に関する情報」が 34.4%となっている。(図表 4-2 参照)

図表 4-2 必要としているまたは関心のある行政情報



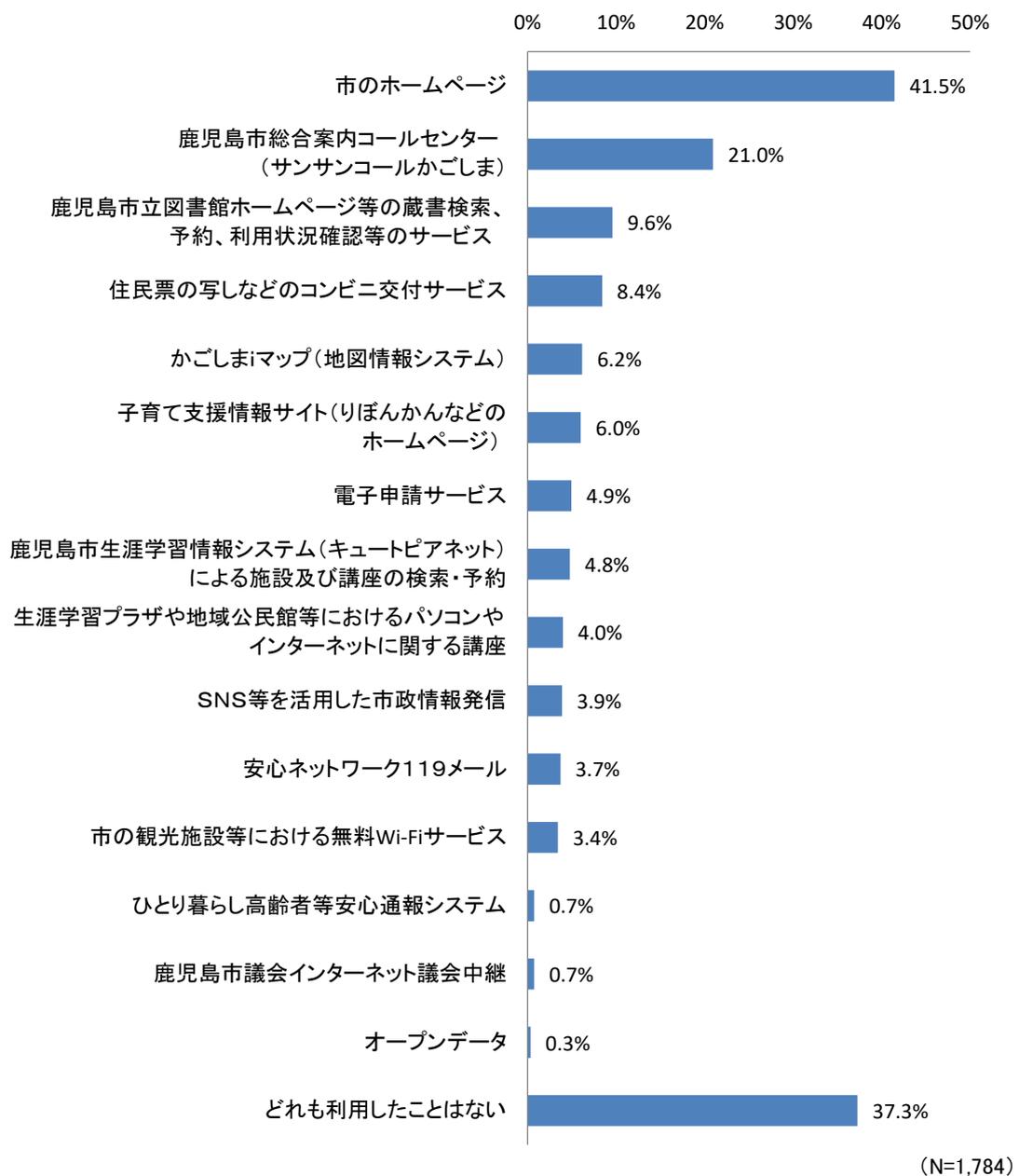
5. 鹿児島市が行う情報化への取組

(1) 情報化施策の利用状況

問 11. あなたは、これまでに鹿児島市が提供・実施している情報化施策を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。 <複数回答>

情報化施策の利用状況については、「市のホームページ」が41.5%と最も多く、次いで「鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）」が21.0%となっている。また、「どれも利用したことはない」は37.3%となっている。（図表 5-1 参照）

図表 5-1 情報化施策の利用状況



(2)情報化施策で効果を実感した状況

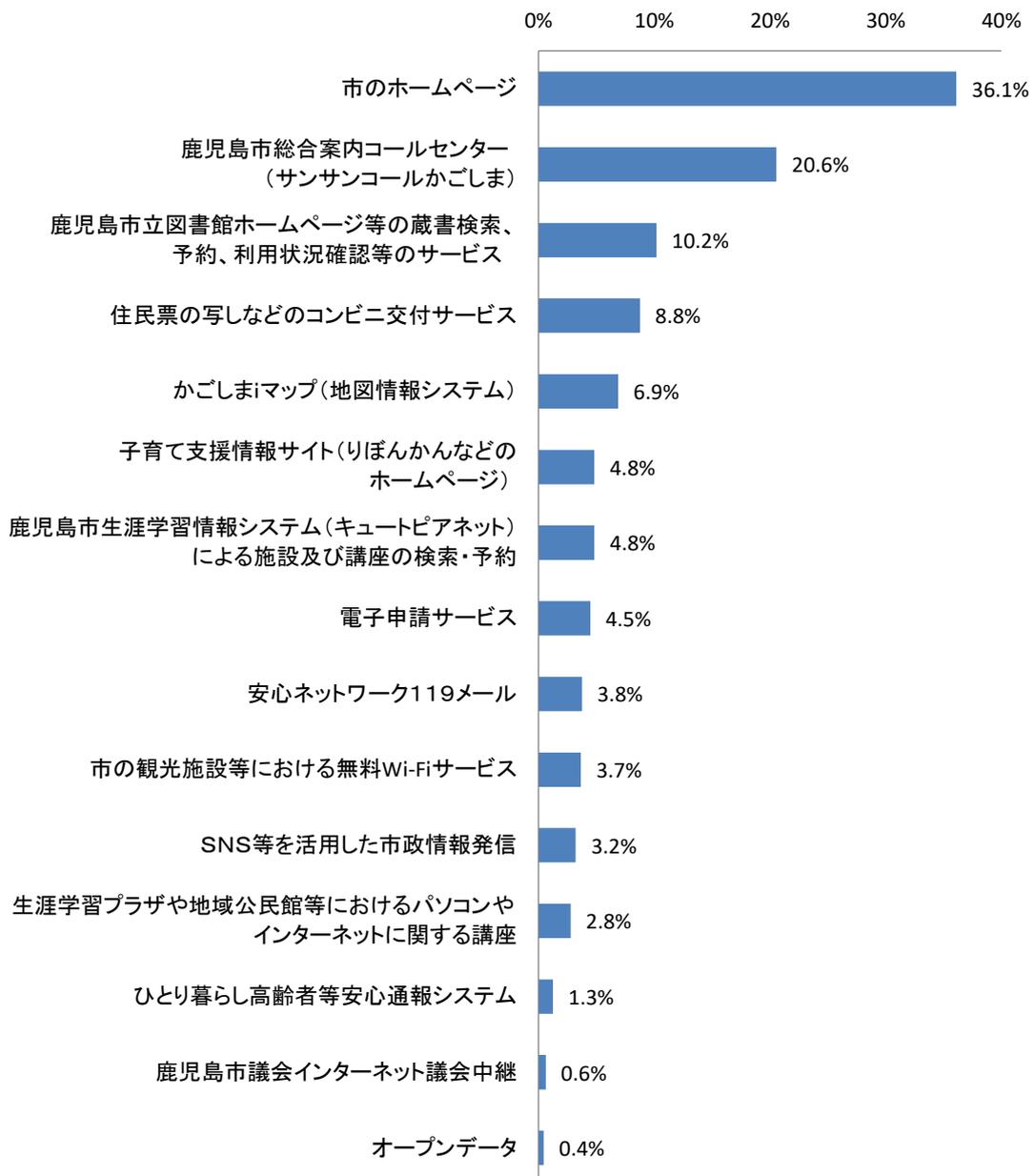
問 12. 問 11 で「16. どれも利用したことはない」以外を選んだ方におたずねします

あなたが利用したことがある、現在、鹿児島市が提供・実施している情報化施策のうち効果が実感できたものがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

情報化施策で効果が実感できたものについては、「市のホームページ」が 36.1%と最も多く、次いで「鹿児島市総合案内コールセンター(サンサンコールかごしま)」が 20.6%となっている。(図表 5-2 参照)

利用状況の高い情報化施策について (P30 図表 5-1 参照)、効果が実感できた情報化施策も高い結果となっている。

図表 5-2 情報化施策で効果を実感した状況



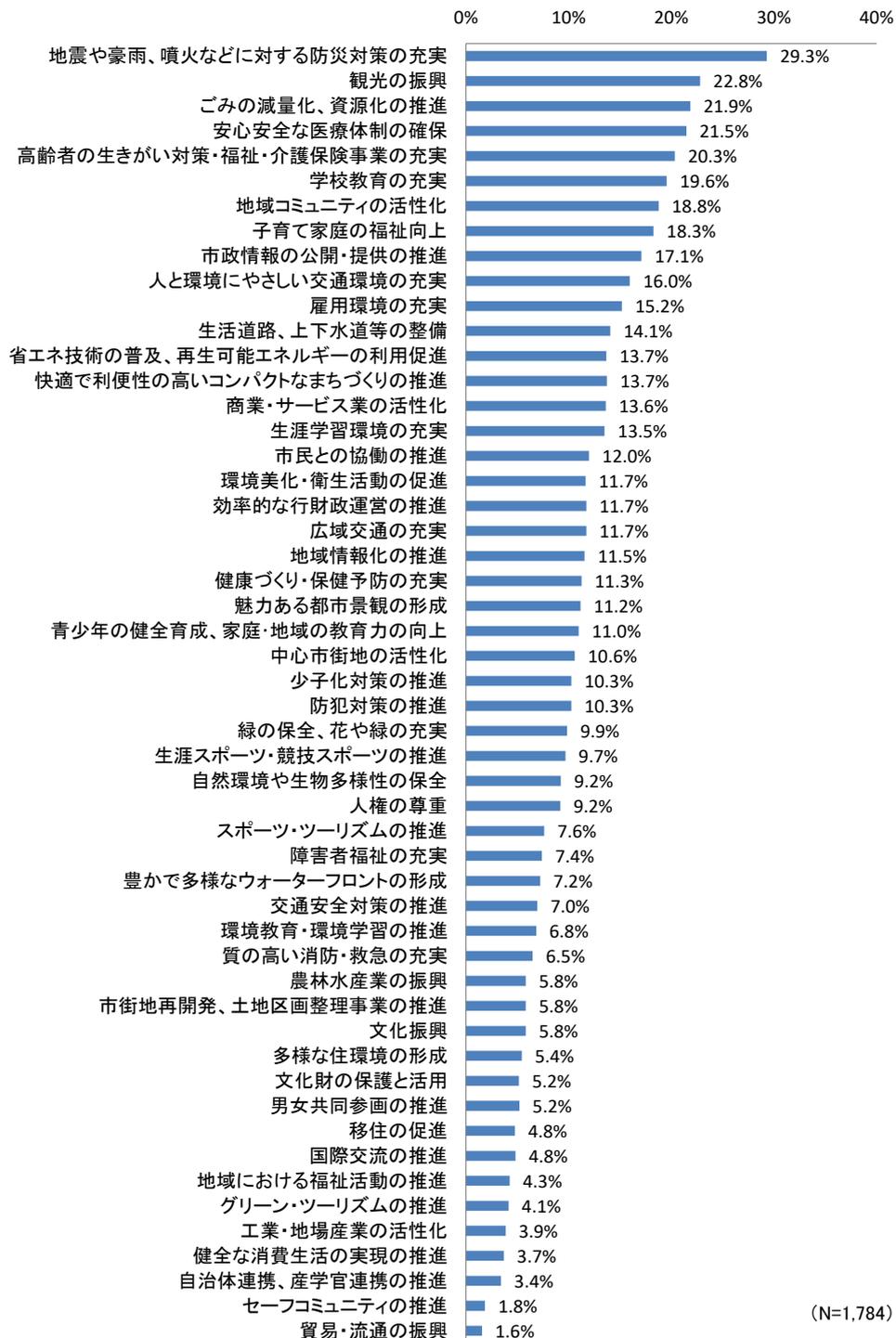
(n=1,119)

(3)情報化による市民サービスの利用意向

問 13. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用すべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈3つまで回答〉

情報通信技術を活用すべき施策については、「地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実」が29.3%と最も多く、次いで「観光の振興」が22.8%、「ごみの減量化、資源化の推進」が21.9%、「安全安心な医療体制の確保」が21.5%となっている。(図表 5-3 参照)

図表 5-3 情報化による市民サービスの利用意向



年齢階層別にみると、10代では「学校教育の充実」、20代・40代～60代では「地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実」、30代では「子育て家庭の福祉向上」、70代では「高齢者の生きがい対策・福祉介護保険事業の充実」が最も多くなっている。（図表5-4参照）

図表 5-4 年齢階層別の情報化による市民サービスの利用意向

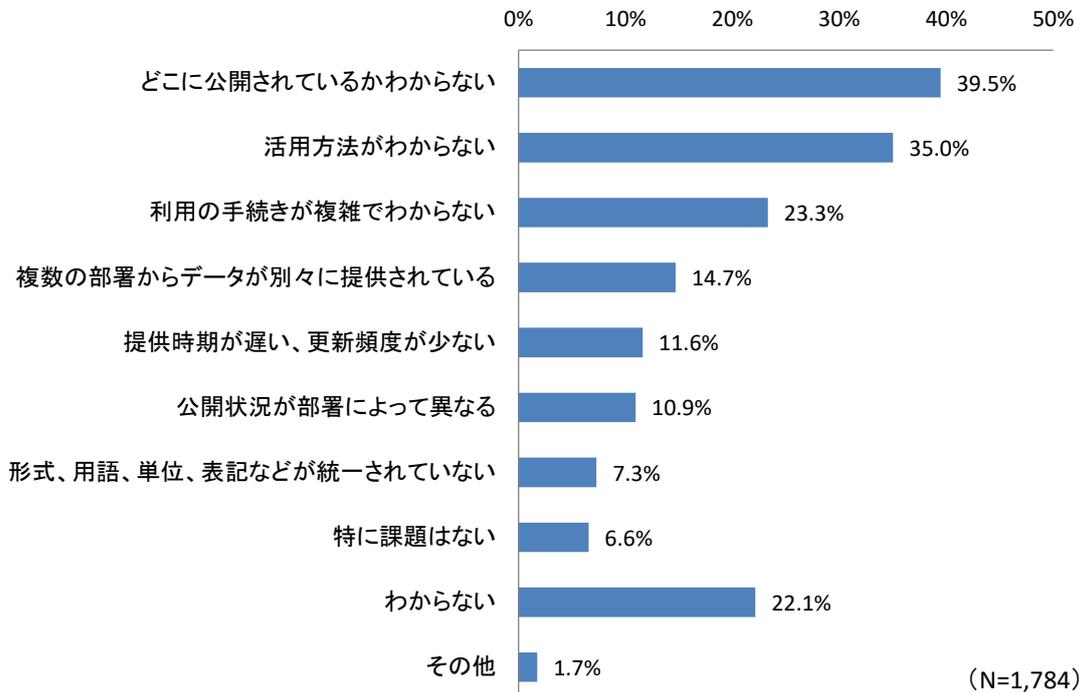
	1位		2位	
10代	学校教育の充実	30.3%	観光の振興	22.5%
20代	地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実	28.6%		27.9%
30代	子育て家庭の福祉向上	46.0%	地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実	27.0%
40代	地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実	28.3%	学校教育の充実	27.3%
50代		35.2%	安心安全な医療体制の確保	24.8%
60代		31.1%	—	—
	高齢者の生きがい対策・福祉・介護保険事業の充実	31.1%		
70代	高齢者の生きがい対策・福祉・介護保険事業の充実	34.7%	ごみの減量化、資源化の推進	33.2%

(4)行政情報を活用する際の課題

問 14. あなたは、鹿児島市の提供する情報など各種データを組み合わせて仕事や地域活性化に活用しようとする場合の課題は何だと思えますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

行政の提供する情報を仕事や地域活性化に活用する際の課題については、「どこに公開されているかわからない」が39.5%と最も多く、次いで「活用方法がわからない」が35.0%、「利用の手続きが複雑でわからない」が23.3%となっている。(図表 5-5 参照)

図表 5-5 行政情報を活用する際の課題



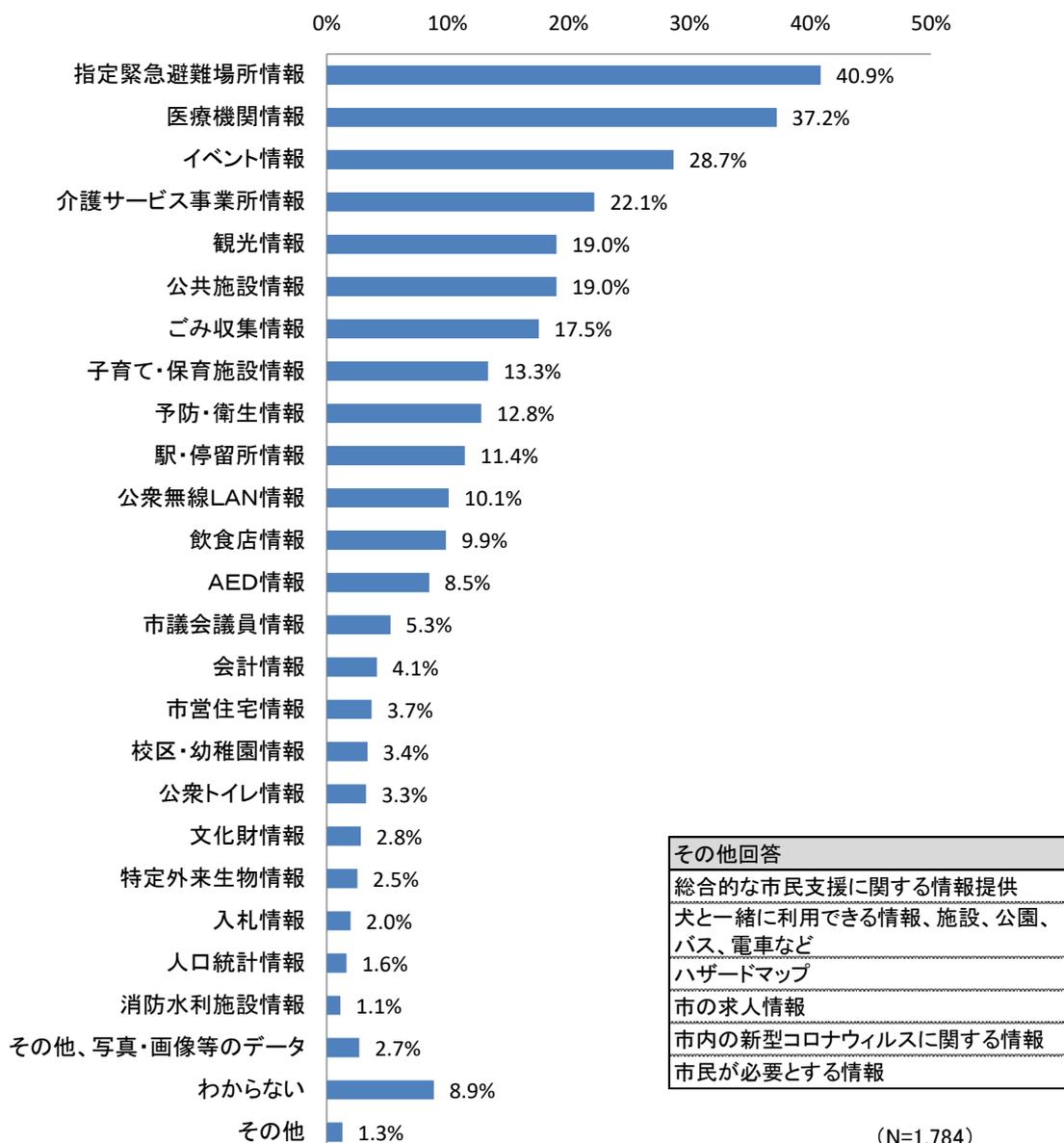
その他回答
知名度が低い
市民がわかりやすい語句を使う
部署名をわかりやすく、検索しやすくする
個人によってデータを取り扱うレベルに差がある
レイアウトがわかりにくい
言語の多言語化への取組
インターネット接続環境を増やす
セキュリティを守る事とデータを自由に利用することの矛盾性の解決
各個別の詳細な情報を提供してほしい
LINEなど多くの市民が見ることができるアプリ等の活用
大事な税金の詳細な利用用途の公開

(5)オープンデータとして公開すべき情報

問 15. 鹿児島市では、オープンデータの取組を実施しています。あなたは、今後鹿児島市がどのようなデータを公開するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈複数回答〉

オープンデータとして公開すべき情報については、「指定緊急避難場所情報」が40.9%と最も多く、次いで「医療機関情報」が37.2%、「イベント情報」が28.7%、「介護サービス事業所情報」が22.1%となっている。(図表5-6参照)

図表 5-6 オープンデータとして公開すべき情報

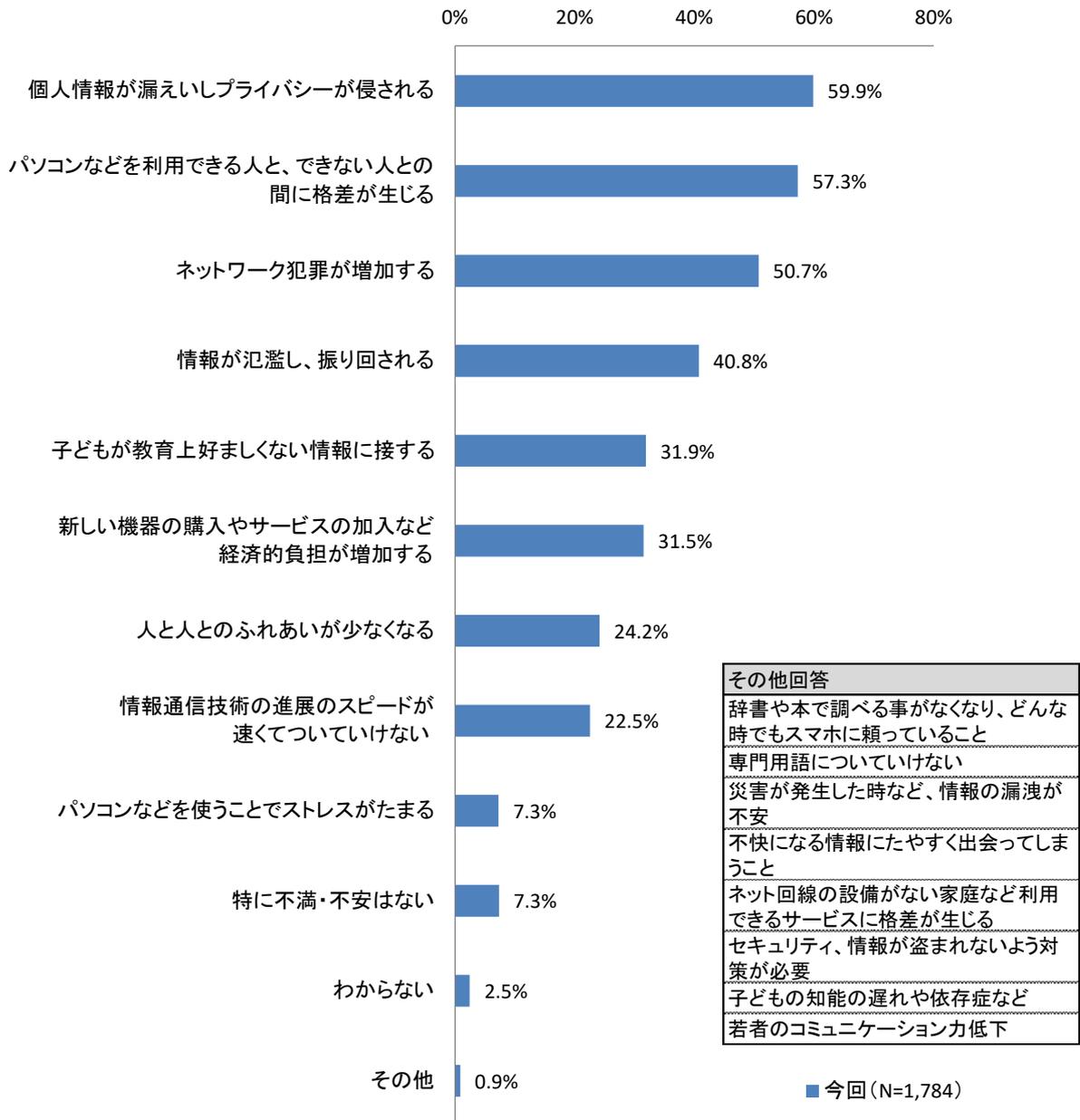


(6)情報化に対する不満や不安

問 16. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じるがありますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

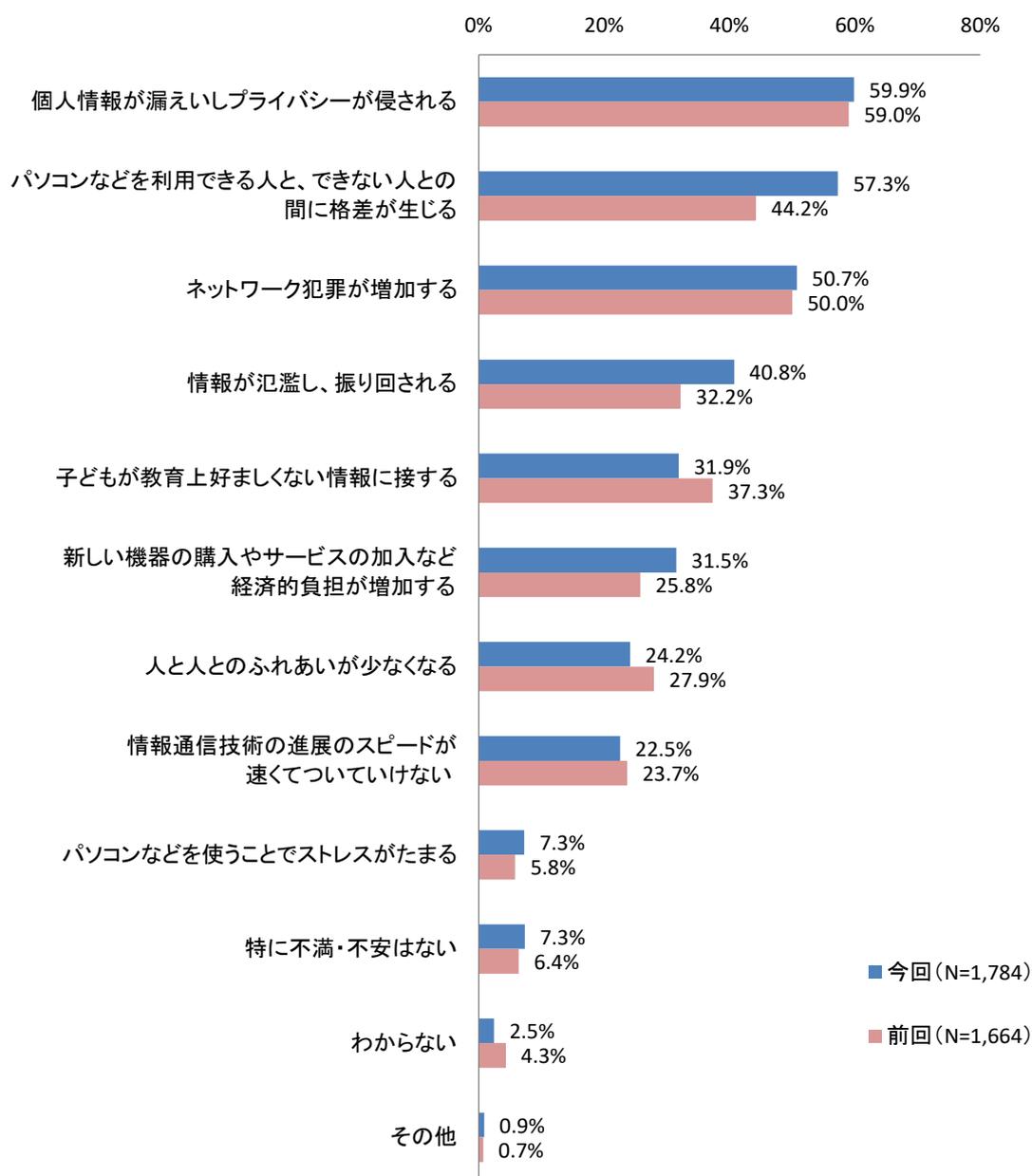
情報化に対する不満や不安については、「個人情報情報が漏えいしプライバシーが侵される」が59.9%と最も多く、次いで「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が57.3%、「ネットワーク犯罪が増加する」が50.7%となっている。(図表 5-7 参照)

図表 5-7 情報化に対する不満や不安



前回と比較すると、「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」「ネットワーク犯罪が増加する」といった情報セキュリティに対する不安については、前回調査と大きな差異は見られなかった。一方、「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が13.1ポイント、「情報が氾濫し、振り回される」が8.6ポイントと増加している。（図表5-8参照）

図表 5-8 情報化に対する不満や不安の比較



年齢階層別にみると、10代～50代では「個人情報が漏えいしプライバシーが侵される」、60代～70代では「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が最も多くなっている。(図表 5-9 参照)

図表 5-9 年齢階層別の情報化に対する不満や不安

	1位	2位	
10代	個人情報が漏えいしプライバシーが侵される	50.6%	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
20代		57.9%	ネットワーク犯罪が増加する
30代		62.6%	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
40代		62.9%	ネットワーク犯罪が増加する
50代		71.0%	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
60代	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる	64.3%	個人情報が漏えいしプライバシーが侵される
70代		59.2%	

(7)情報化施策についての自由意見

問 16. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

※内容精査中

Ⅲ. 資料 調査票

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査

■この調査について

この調査は、新たに取り組む情報化施策に市民の皆さんのご意見を十分に反映させるために実施するものです。

この調査をお願いする方は、16歳以上80歳未満の市民の皆さんから無作為に選ばせていただきました。

アンケート用紙は無記名で、調査結果は統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願いいたします。

■ご記入に当たってのお願い

1. この調査は、封筒のあて名の方がご回答ください。ご本人による記入が難しい時には、周りの方が代わりにご記入下さい。
2. ご回答は、それぞれの質問に関してあらかじめ用意された項目（選択肢）の中から、当てはまる番号に○印をつけてください。また（ ）内にはできるだけ具体的にご記入ください。
3. 本アンケート中に使われている用語については、表紙の裏に用語説明を記載しておりますのでご利用下さい。
4. このアンケート用紙及び返信用封筒には住所・氏名を記入していただく必要はありません。また、切手を貼っていただく必要もありません。
5. ご回答いただいたアンケート用紙は、記入もれがないかご確認のうえ、同封してある返信用封筒に入れ、令和2年8月31日(月)までにご投函くださいますようお願いいたします。

※パソコン、スマートフォンからご回答いただくこともできます。

URL <https://shinsei.pref.kagoshima.jp/FekI5ZVi>

※アルファベットの大文字と小文字は上記のとおり入力ください。

エ7(大文字) イ-(小文字) ケ-(小文字) アイ(大文字) 5(数字)

ゼット(大文字) ブイ(大文字) アイ(小文字)



※このアンケートで知り得た情報の秘密は厳守します。なお、統計的な処理が終わりましたら、アンケート用紙は破棄させていただきます。

■お問い合わせ先

鹿児島市ICT推進室

住所：〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号

電話：099-216-1115（直通）

FAX：099-216-1117

E-mail：jousys-it@city.kagoshima.lg.jp

【用語説明】

用語	説明
タブレット型端末	液晶ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載し、指で操作する板状の携帯情報端末。代表的なものにiPadがある。
スマートフォン	個人用の携帯情報端末の機能を併せ持った携帯電話。音声通話以外に、ウェブ閲覧、電子メールの送受信、文書ファイルの作成・閲覧などができる。
ウェアラブル端末	身につけて持ち歩くことができる情報端末。メガネ型や腕時計型などの端末がある。
光回線	光ファイバケーブルを利用した超高速インターネット接続サービス。データ転送速度は最大100Mbps～1Gbps程度。（※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
DSL回線(ADSL)	既存の電話回線を利用して高速伝送を可能にする技術で高速インターネット接続が可能になるもの。データ転送速度は最大数Mbps～数十Mbps程度。2016年6月に新規受付は終了している。（※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
CATV回線	ケーブルテレビのケーブルをインターネット接続に用いる場合を指す。
ISDN回線	NTTが提供する総合デジタル通信サービス。データ転送速度は64Kbps。2018年11月に新規受付は終了している。（※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
ブログ	ウェブログの略。時系列に並べられた日記風の記事と、それについてのコメントが定期的に更新されるウェブサイトのこと。
電子掲示板	インターネット上に開設された掲示板。様々な利用者によって情報の書込みや閲覧をすることが可能。BBSとも言う。
チャット	ネットワーク上で参加者同士が文字による会話を同時に行えるようにしたサービス。
アプリ	ワープロ・ソフト、表計算ソフト、画像編集ソフトなど、作業の目的に応じて使うソフトウェア。
動画投稿・共有サイト	インターネット上のウェブサイトのうち、動画を投稿し、他のユーザーが閲覧可能な状態にする（共有する）サイトのこと。YouTube、ニコニコ動画などがある。
オンデマンド	視聴者のリクエストに応じてサービスを提供する。見たいときに見ることが可能な配信方法。
SNS	ソーシャル ネットワーキング サービスの略。参加者が互いに友人を紹介しあって、新たな友人関係を広げることを目的に開設されたコミュニティ型サイトのこと。
ネットトレード	インターネットを利用して行う、株取引や為替取引のこと。オンライントレードともいう。

用語	説明
オンラインゲーム	インターネットを利用し、多人数で同時に同じゲーム進行を共有することができるゲーム。
クラウドサービス	データセンターと呼ぶ大規模施設に置かれたデータやアプリ等をネットワーク経由で利用する仕組みのこと。
テレワーク	ネットワークを活用することにより、本来の勤務地とは別の場所で働く勤務形態のこと。
サテライトオフィス	本来の勤務地とは別の場所にある事務所・オフィススペースなどのこと。
モバイルワーク	営業活動や出張などで外出中に作業すること
認証技術	何かによって、対象の正当性を確認するための技術。ID・パスワード、指紋認証、電子署名など。
Wi-Fi (ワイファイ)	無線LANの規格で、国際標準規格IEEE 802.11 規格に準拠していることを示しており、対応している機器同士でネットワークを構成できる。
オープンデータ	地方公共団体などが保有する公共データを、市民や企業などに利活用されやすいように機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開すること。 地元ICT企業等がオープンデータを利活用して、市民生活に便利なサービス（スマホ用アプリなど）を開発することなどにより、地域経済の活性化や市民生活の利便性向上などが期待される。

☆はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。なお、それぞれの項目は統計処理する際に必要な項目ですので、すべての項目について記入もれがないよう、お願いいたします。

■性別

1. 男

2. 女

3. 答えたくない

■年齢（令和2年4月1日現在）

1. 16歳～19歳

4. 40歳～49歳

7. 70歳～79歳

2. 20歳～29歳

5. 50歳～59歳

3. 30歳～39歳

6. 60歳～69歳

■職業（兼業の場合は収入の多い方に○印をつけてください。）

1. 農林水産業

5. パート、アルバイト

2. 自営業（農林水産業以外）

6. 学生（高校生も含む）

3. 会社員

7. 無職

4. 公務員

8. その他（ ）

■居住地（2ページの「地域区分と所属町丁目の対照表」を参照してください。）

1. 中央地域

6. 谷山北部地域

11. 吉田地域

2. 上町地域

7. 谷山地域

12. 喜入地域

3. 鴨池地域

8. 伊敷地域

13. 松元地域

4. 城西地域

9. 吉野地域

14. 郡山地域

5. 武・田上地域

10. 桜島地域

※不明な場合は、お住まいの町名をお書きください。（例：山下町）

（ ）

【 地域区分と所属町丁目の対照表 】

番号	地域区分	所 属 町 丁 目
1	中央地域	名山町、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、呉服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、樋之口町、山之口町、千日町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町
2	上町地域	坂元町、西坂元町、東坂元1～4丁目、清水町、祇園之洲町、鼓川町、池之上町、稲荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里団地1～3丁目、若葉町、吉野町の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
3	鴨池地域	高麗町、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元町、郡元1～3丁目、南郡元町、東郡元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1～6丁目、西紫原町、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目
4	城西地域	城山1～2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1～2丁目、玉里町、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良町、原良1～7丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常盤町、常盤1～2丁目、西田1～3丁目
5	武・田上地域	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～3丁目、田上町、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府町、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野町の一部（西之谷）
6	谷山北部地域	五ヶ別府町、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田町、中山町、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原町、魚見町、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘町、小松原1～2丁目、東開町
7	谷山地域	西谷山1～4丁目、清和3～4丁目、上福元町、谷山中央1～8丁目、下福元町、慈眼寺町、和田1～3丁目、平川町、卸本町、南栄1～6丁目、七ッ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1～2丁目
8	伊敷地域	伊敷町、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷町、下伊敷1～3丁目、小野町（西之谷を除く）、小野1～4丁目、犬迫町、小山田町、皆与志町
9	吉野地域	岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）、吉野1～2丁目、大明丘1～3丁目
10	桜島地域	桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町
11	吉田地域	西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、牟礼岡1～3丁目
12	喜入地域	喜入瀬々串町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町
13	松元地域	石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町
14	郡山地域	花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町

< 1 > あなたの世帯での情報通信機器の保有状況、利用状況についておたずねします。

問1. あなたの世帯では、ご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

*パソコンからの利用のほか、携帯電話、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

*個人的な利用だけではなく、仕事上での利用等あらゆる場合も含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

*図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用も含みます。

問2. (1) あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。（ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。）

1. 自宅のパソコン（2のタブレット型端末は除く）
2. タブレット型端末
3. 携帯電話（4のスマートフォンは除く）
4. スマートフォン型の携帯電話
5. ファクシミリ（FAX）
6. インターネットに接続できるテレビ
7. インターネットに接続できる家庭用ゲーム機
8. ウェアラブル端末（メガネ型・腕時計型情報端末など）
9. その他（)

(2) 「自宅」でインターネットを利用している場合、どのような回線で利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 光回線
2. DSL回線（ADSLなど）
3. 携帯電話回線（サービス名に「5G」、「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5以降のiPhoneなど）
4. 携帯電話回線（3以外のもの）（サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの、iPhone4SまでのiPhoneなど）
5. ケーブルテレビ回線（CATV回線）
6. ISDN回線
7. 電話回線（ダイヤルアップ）
8. わからない
9. その他（)

問3. (1) あなたの世帯には、小中学生の子どもがいますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. いる

2. いない

(2) 問3 (1)で「1. いる」を選んだ方におたずねします。あなたの世帯には、小中学生の子ども専用のタブレット型端末等がありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコン (2のタブレット型端末は除く)
2. タブレット型端末
3. 携帯電話 (4のスマートフォンは除く)
4. スマートフォン型の携帯電話
5. インターネットに接続できる家庭用ゲーム機
6. その他 ()
7. 子ども専用の情報通信機器はない

(3) 問3 (1)で「1. いる」を選んだ方におたずねします。小中学生の子どもが専用のタブレット型端末等を保有することに対して、不安を感じますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 不安を感じる 2. 少し不安を感じる 3. あまり不安を感じない 4. 不安を感じない

< 2 > あなたのご自身の情報通信機器の利用状況についておたずねします。

問4. 過去1年間にインターネット (パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など) を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 利用したことがある → 問5へ 2. 利用したことがない → 問5の(6)へ

*パソコンからの利用のほか、携帯電話、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

*個人的な利用だけではなく、仕事上での利用等あらゆる場合も含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

*図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用も含みます。

問5. 問4で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコン (自宅以外のものも含むが、2のタブレット型端末は除く)
2. タブレット型端末
3. 携帯電話 (4のスマートフォンは除く)
4. スマートフォン型の携帯電話
5. インターネットに接続できるテレビ
6. インターネットに接続できる家庭用ゲーム機
7. その他 ()

(2) インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。

利用したことがある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

利用頻度	パソコン	タブレット端末	携帯電話	スマートフォン	テレビ	ゲーム機	その他
毎日1回以上	1	1	1	1	1	1	1
週に1回以上	2	2	2	2	2	2	2
月に1回以上	3	3	3	3	3	3	3
それ以下	4	4	4	4	4	4	4

(3) どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. ホームページ・ブログの閲覧、書き込み
2. 自分のホームページ・ブログの開設・更新
3. 電子メールの送受信
4. 電子掲示板・チャットの利用
5. 無料通話アプリやボイスチャットの利用 (Skype、LINEなど)
6. 動画投稿サイトの閲覧・投稿 (YouTube、ニコニコ動画など)
7. 電子マネー (PayPay、楽天ペイなど)
8. ラジオ、テレビ番組、映画などのオンデマンド配信サービスの利用 (TVer、Huluなど)
9. ウェブアルバム (iCloud、Googleフォトなど、写真・画像の投稿・共有サービス) の利用
10. SNS (Facebook、Twitter、LINE、Instagram など) の利用
11. 電子ファイルの交換・ダウンロード
12. インターネットオークション、フリーマーケット (ヤフオク、メルカリなど)
13. 電子政府・電子自治体の利用 (電子申請、電子申告、電子届出、電子納付)
14. 商品・サービスの購入・取引 (15と16は除く)
15. デジタルコンテンツ (音楽、映像、ゲームソフト、電子書籍等) の購入・取引
16. 金融取引 (ネットバンキング、ネットトレードなど)
17. クイズ・懸賞応募、アンケート回答
18. オンラインゲームの利用
19. 地図情報提供サービス (乗換、ルート検索等も含む)
20. 天気予報の利用 (台風情報含む、21は除く)
21. 防災情報 (地震、津波、緊急情報など)
22. ニュースサイトの利用
23. 辞書・辞典サイトの利用
24. 上記以外のクラウドサービス (Office 365、Dropbox、Evernote、Eight など)
25. その他 ()

問6. すべての方におたずねします。現在、インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 特に不満は感じていない
2. 個人情報の保護に不安がある
3. ウィルスの感染が心配である
4. 電子的決済手段の信頼性に不安がある
5. 違法・有害情報が氾濫している
6. SNS等におけるコミュニケーション相手とのトラブル
7. SNS等での誹謗中傷
8. 架空請求やインターネットを利用した詐欺
9. 迷惑メールが来ること
10. 通信料金が安い
11. パソコンなどの機器が高価すぎる
12. パソコンなどの操作が難しい
13. 接続速度が遅い
14. 認証技術の信頼性に不安がある
15. 情報検索に手間がかかる
16. 必要な情報がない
17. 利用する必要がない
18. わからない
19. その他 ()

問7. すべての方におたずねします。あなたは、過去1年間に携帯電話又はスマートフォンでどのような機能・サービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 自宅でのWi-Fiを利用したインターネットのサービス
2. 自宅以外でのWi-Fiを利用したインターネットのサービス
3. カメラ機能を使ったQRコードの読み取り
4. ICチップ機能を使った電子マネーやポイント・乗車券などの利用
5. 写真・動画撮影
6. テレビ機能（ワンセグ、フルセグ）
7. 音楽ファイルの再生
8. 地図情報、GPS機能と連動したサービス
9. この中では利用したサービスがない。
10. 携帯電話、スマートフォンを保有していない。
11. その他 ()

問10. あなたが現在必要としている、または関心のある鹿児島市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 各種相談や窓口に関する情報
2. 市のイベントに関する情報
3. 市民講座に関する情報
4. 市の施設に関する情報
5. ボランティア活動に関する情報
6. 住民票・年金・税金などの暮らしの情報
7. 保健・福祉・子育てに関する情報
8. 地球温暖化対策・自然環境・ごみ分別・リサイクルなど環境に関する情報
9. 災害や防災・防犯に関する情報
10. 入札・工事に関する情報
11. 観光に関する情報
12. 国際交流に関する情報
13. 教育・文化に関する情報
14. 市の経済・産業に関する情報
15. 市の統計・調査に関する情報
16. 市の施策や計画に関する情報
17. 市の財政や組織などに関する情報
18. 市議会に関する情報
19. 公営企業（市立病院、市電・市バス、水道・下水道、桜島フェリー）に関する情報
20. 特にない
21. わからない
22. その他（)

< 4 > 鹿児島市が行う情報化への取組についておたずねします。

問11. あなたは、これまでに鹿児島市が提供・実施している情報化施策を利用したことがありますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）
2. 市のホームページ
3. SNS等を活用した市政情報発信
4. 住民票の写しなどのコンビニ交付サービス
5. 電子申請サービス
6. かがしま i マップ（地図情報システム）
7. 子育て支援情報サイト（夢すくすくねっと、りぼんかんなどのホームページ）
8. 生涯学習プラザや地域公民館等におけるパソコンやインターネットに関する講座
9. ひとり暮らし高齢者等安心通報システム
10. 安心ネットワーク 119 メール
11. 鹿児島市生涯学習情報システム（キュートピアネット）による施設及び講座の検索・予約
12. 鹿児島市立図書館ホームページ等の蔵書検索、予約、利用状況確認等のサービス
13. 鹿児島市議会インターネット議会中継
14. 市の観光施設等における無料Wi-Fiサービス
15. オープンデータ
16. どれも利用したことはない

問12. 問11で「16.どれも利用したことはない」以外を選んだ方におたずねします。あなたが利用したことがある、現在、鹿児島市が提供・実施している情報化施策のうち効果が実感できたものがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）
2. 市のホームページ
3. SNS等を活用した市政情報発信
4. 住民票の写しなどのコンビニ交付サービス
5. 電子申請サービス
6. かがしま i マップ（地図情報システム）
7. 子育て支援情報サイト（夢すくすくねっと、りぼんかんなどのホームページ）
8. 生涯学習プラザや地域公民館等におけるパソコンやインターネットに関する講座
9. ひとり暮らし高齢者等安心通報システム
10. 安心ネットワーク 119 メール
11. 鹿児島市生涯学習情報システム（キュートピアネット）による施設及び講座の検索・予約
12. 鹿児島市立図書館ホームページ等の蔵書検索、予約、利用状況確認等のサービス
13. 鹿児島市議会インターネット議会中継
14. 市の観光施設等における無料Wi-Fiサービス
15. オープンデータ

問13. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

【信頼・協働政策】

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 市民との協働の推進 | 5. 効率的な行財政運営の推進 |
| 2. 地域コミュニティの活性化 | 6. 地域情報化の推進 |
| 3. 移住の促進 | 7. 自治体連携、産学官連携の推進 |
| 4. 市政情報の公開・提供の推進 | |

【うるおい環境政策】

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 8. 省エネ技術の普及、再生可能エネルギーの利用促進 | 11. 自然環境や生物多様性の保全 |
| 9. 環境教育・環境学習の推進 | 12. 緑の保全、花や緑の充実 |
| 10. ごみの減量化、資源化の推進 | 13. 環境美化・衛生活動の促進 |

【にぎわい交流政策】

- | | |
|-------------------|------------------|
| 14. 観光の振興 | 19. 商業・サービス業の活性化 |
| 15. 国際交流の推進 | 20. 工業・地場産業の活性化 |
| 16. スポーツ・ツーリズムの推進 | 21. 貿易・流通の振興 |
| 17. グリーン・ツーリズムの推進 | 22. 雇用環境の充実 |
| 18. 中心市街地の活性化 | 23. 農林水産業の振興 |

【すこやか安心政策】

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 24. 少子化対策の推進 | 31. 交通安全対策の推進 |
| 25. 子育て家庭の福祉向上 | 32. 防犯対策の推進 |
| 26. 高齢者の生きがい対策・福祉・介護保険事業の充実 | 33. セーフコミュニティの推進 |
| 27. 地域における福祉活動の推進 | 34. 健全な消費生活の実現の推進 |
| 28. 障害者福祉の充実 | 35. 地震や豪雨、噴火などに対する防災対策の充実 |
| 29. 健康づくり・保健予防の充実 | 36. 質の高い消防・救急の充実 |
| 30. 安心安全な医療体制の確保 | |

【まなび文化政策】

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 37. 学校教育の充実 | 41. 文化財の保護と活用 |
| 38. 青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上 | 42. 生涯スポーツ・競技スポーツの推進 |
| 39. 生涯学習環境の充実 | 43. 人権の尊重 |
| 40. 文化振興 | 44. 男女共同参画の推進 |

【まち基盤政策】

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 45. 快適で利便性の高いコンパクトなまちづくりの推進 | 49. 生活道路、上下水道等の整備 |
| 46. 市街地再開発、土地区画整理事業の推進 | 50. 多様な住環境の形成 |
| 47. 豊かで多様なウォータースタットの形成 | 51. 広域交通の充実 |
| 48. 魅力ある都市景観の形成 | 52. 人と環境にやさしい交通環境の充実 |

問14. あなたは、鹿児島市の提供する情報など各種データを組み合わせて仕事や地域活性化に活用しようとする場合の課題は何だと思えますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 活用方法がわからない
2. どこに公開されているかわからない
3. 利用の手続きが複雑でわからない
4. 複数の部署からデータが別々に提供されている
5. 公開状況が部署によって異なる
6. 形式、用語、単位、表記などが統一されていない
7. 提供時期が遅い、更新頻度が少ない
8. 特に課題はない
9. わからない
10. その他 ()

問15. 鹿児島市では、オープンデータの取組を実施しています。あなたは、今後鹿児島市がどのようなデータを公開するべきだと思えますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

1. 指定緊急避難場所情報
2. イベント情報
3. 観光情報
4. 介護サービス事業所情報
5. ごみ収集情報
6. 公共施設情報
7. 駅・停留所情報
8. 医療機関情報
9. 公衆無線LAN情報
10. 公衆トイレ情報
11. AED情報
12. 市営住宅情報
13. 予防・衛生情報
14. 飲食店情報
15. 子育て・保育施設情報
16. 人口統計情報
17. 市議会議員情報
18. 校区・幼稚園情報
19. 消防水利施設情報
20. 特定外来生物情報
21. 入札情報
22. 文化財情報
23. 会計情報
24. その他、写真・画像等のデータ
25. わからない
26. その他 ()

問16. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じることがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
2. 個人情報漏えいしプライバシーが侵される
3. ネットワーク犯罪が増加する
4. 子どもが教育上好ましくない情報に接する
5. 人と人とのふれあいが少なくなる
6. 情報が氾濫し、振り回される
7. パソコンなどを使うことでストレスがたまる
8. 情報通信技術の進展のスピードが速くてついていけない
9. 新しい機器の購入やサービスの加入など経済的負担が増加する
10. 特に不満・不安はない
11. わからない
12. その他 ()

問17. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ ※ ※ ※

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、8月31日(月)までにご投函ください。